

CHIENRYO

京都大学YMCA地塩寮 新入寮生募集パンフ

「京大生」にも無名の
寮に住む者達の
生活に迫る。

京大徒歩5分 個室 男女共同 24,000円

HP : <http://www.geocities.co.jp/chienryo/> twitter : @chienryo



序文

▽ Y

地塩寮の面接は、真剣勝負です

20名以上の寮生が、あなたに、全力の質問を投げかけます

あなたの生き方、人生観、作文内容の詳細について……

妥協はしません

どこまでも深く、追求します

ですがもちろん、あなたからの質問にも、こちらは本気で応えます

これから共に暮らすあなたのことを、知りたいから

あなたと共に暮らす私たちのことを、知ってもらいたいから……

—昨年、入寮選考を受けたある女の子は、面接中に泣き出してしまいました

怖かったのでしょう

革ジャンにオールバックの男に問い詰められた経験など、彼女にはなかったからです

結局、彼女は、面接の最後まで泣き止むことができませんでした……

—ですが、彼女は後に語ります

「あの入寮選考を受けることができたのは、大きな財産となっている。私も来年は、Yさんを超えるような選考を作りたい」

いえーいー番乗り!!

非常に、感じるところのある選考だったのでしょうか

彼女は、一体、これからどんな選考を作りあげることになるのでしょうか……？

—選考は、委員長によって、大きく形を変えます

これまでも、沢山の選考が行われてきました

厳しく問いかける選考、穏やかな選考、終始笑いの絶えないような、明るい雰囲気のある選考……

心の優しい彼女が描く入寮選考とは、一体どういったものになるのでしょうか

彼女は、どういった決意をもとに、委員長となったのでしょうか……？

—これから面接に訪れるあなたへ、

面接の際には、とても緊張すると思います

パニックになるかもしれません

ですが、少しでも余裕のあったときには、ぜひ、彼女の選考にかける思いを感じ取ってもらえれば、と思います

あなたと面接で会えることを、とても楽しみにしています

—昨年度入寮選考委員長 Y より

それっぽい文章で、いいよね。

目次

- 1 序文
- 5 理事長挨拶
- 7 京大 YMCA について
- 9 京大 YMCA 会則
- 11 地の塩
- 12 寮自治
- 13 聖書研究会
- 15 会館
- 16 食堂について
- 17 設備と費用
- 19 他大生・留学生・大学院生について
- 21 異性について
- 23 仕事について
- 25 寮父・寮食のページ
- 26 京大 YMCA プログラム
- 29 寮生活について
- 35 入寮選考の流れ
- 37 作文改題Ⅰ
- 39 作文改題Ⅱ

“京”と書いて“りょう”と読みます。ゆとりなめ！

43 作文改題Ⅲ

45 自由ページ

57 入寮選考委員長たるもの？

58 編集後記



いから麻雀だよ、あくしよよ

理事長挨拶

共同して自らの生を確立する経験への勧誘

京都大学キリスト教青年会理事長 片柳栄一

京都大学キリスト教青年会(YMCA)は、1899年に創設され、100年以上にわたって、京都大学の内外でキリスト教の精神に基づく青年会活動を行ってきました。その一つの重要な活動として、京都大学の学生を中心とする学生寮である「地塩寮」を運営してきました。この名称は「あなた方は地の塩である」という主イエスの言葉に由来します(マタイによる福音書 5章13節)。「地」すなわち人間の住む世界の中で、「塩」のように目立たないながら、活力を支え清める不可欠な働きを担う青年学生を共同生活の中から生み出そうとの祈りと願いを込めて、国際的な協力のもとに、この寮は建設されました。寮生活は基本的に寮生の自治に委ねられていますが、寮生は京都大学キリスト教青年会の会員となり、先輩の会員と共に理事会を構成して、寮生活を含む諸活動の責任を担っています。地塩寮が一般の学生寮と異なるのは、京都大学キリスト教青年会の目的と活動に密接に関係していることです。

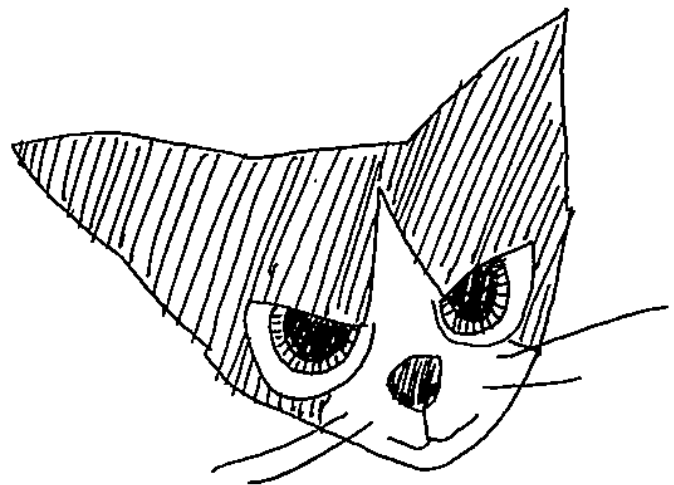
大学生活においての基本は学問することですが、その学びは大学での授業に尽きるものではありません。様々な人々との出会いのなかで、学びは深められ、広がりをもってきます。寮での共同生活は、そうした人々との豊かで濃密な出会いを可能にしてくれる絶好の機会を提供してくれます。確かに人間と人間の交わりほど、やりにくく難しいものはないのかもしれませんが、誤解や葛藤も避けられないともいえます。しかしそうした葛藤の中で、自分が養われ、鍛えられ、他者に開かれた自分になったことを、寮生活を経験した者は自覚しています。

私の同僚の政治学の教授が、最近の若者が大人になれず、なろうとしない理由ははっきりしていると語っていました。それは自治の経験がなく、またそれを避けようとしているからだときっぱり言いました。命令されたこと、決められたことを実行することはそれほどむづかしいことではないかもしれませんが、自分たちで議論し合って新たに決定し、それを実行することは、責任の伴う骨

京都大学キリスト教青年会
KUGCはいいぞ

の折れることです。時には思わぬ重大な結果を引き起こすこともあります。だからこそ、一人ひとりが、静かに決断の前に立ち、そのようにして神の前に立つという経験にも至ります。そのような生活の中で、生涯の友を見出し、隣人として生きる真の交わりの中に入れられるのです。そのように自分たちで共に考え、決断してゆく自治的な活動において、人間は一人の成熟した人間、大人になってゆくのです。地塩寮での活動はそのような自治的な活動の経験を豊富に提供してくれます。こうした共同的自治の経験は、未だ真の民主主義が成熟したとは言えない日本社会の将来にとっても、貴重な意味をもっています。

このような互いのかかわりと自治を旨とする寮生活をなし、真理の源である聖書の世界に触れることを望む学生を、京都大学キリスト教青年会は、キリスト者であると否とを問わず、歓迎します。



官猫しゃみは
こゝ3年17歳。

ハニコラ

京大 YMCA について

▽ ニッキ

このページでは、京都大学 YMCA (以下京大 Y) について説明します。

京都大学 YMCA とは何かを話す前に、YMCA (Young Men's Christian Association) が何かを説明します。このページを読んでいるあなた、YMCA を知っていますか？ 知っていると答える人もいるでしょうし、知らないと答える人もいるでしょう。知っているという人は YMCA がどのような団体か知っていますか？ キャンプをしているところ、スイミング教室をしているところ、日本語学校があるところ…様々な答えがあると思います。YMCA は、1844 年のイギリスで、ジョージ・ウィリアムスという人を中心として成立しました。時は産業革命真っ只中、産業の発展が著しい中で人々、特に青年の心は長時間労働によって荒廃していました。受験生みたいにね！ そこで、前述のジョージ・ウィリアムスは仲間たちと立ち上がりました。彼らは青年たちと聖書を読み、祈り、奉仕をしました。この活動は次第に広がり、明治時代になると日本にも上陸し、今日に至ります。つまるところ、YMCA はキリスト教精神にのっとりた全人的な人間の成長を目的とした団体です (多分)。その中で、京都大学のメンバーを中心に構成されている YMCA が京大 Y なのです。なるほどわからん。

そして、我々地塩寮生は京大 Y のメンバーの一員なのです。もし、あなたが地塩寮に入寮することになれば、あなたも京大 Y 会員になってもらいます。また、すでに寮を卒業した先輩方も京大 Y の会員です。とはいっても、京大 Y 会員になったからと言ってスイミング教室や日本語学校の先生になるわけではありません。では我々は何をしているかというと、寮に住んでいます。しかし、ただ住むだけではありません。自分たちのやるべきこと (≠ やりたいこと) を自分でこなしながら住むのです。我々京大 Y の主な活動は寮自治 (= 寮運営) にあります。具体的な内容としては、月に 1 回寮生全員で話し合う寮例会、同じく月に 1 回理事という特殊な役割を持つ役職の寮生が

「ほしゅつ、
放出」と書いてあれば自由に食ってよし。

出席して卒寮生の代表の方々と話し合う理事会、年に1回開催され、昨年度の総括を広くOPにお伝えする総会などです。寮例会、総会についてはすべての寮生が出席する必要があり、理事会については理事の寮生は出席する義務を負います。少し堅苦しいですが、これも寮運営のためには必要なことなのです。

また、YMCAの説明でキリスト教に少し触れましたが、現在の寮生でクリスチャンは1名だけです。過去の寮生を振り返っても、クリスチャン寮生は少数派です。応募資格にもある通り、宗教について不問です。一方で、聖書研究会(自由参加)を月に1回行っていたり、教会に通っている寮生が数名いたりキリスト教に触れる機会は他の一般的な大学生よりは多いと思います。興味があれば触れてみると面白いかもしれません。もちろん、クリスチャンの方も大歓迎ですよ。

最後に大切なことを。地塩寮卒寮後は、京大Y会員として毎年4,000円を納めなければなりません。これも、地塩寮の運営を支える大切な資金です。

この文章を読んで京大Yを理解できた人間はいろいろと向いています。ぜひ入寮面接を受けましょう。そして、理解できなかった人のほうがいろいろと向いています。ぜひ入寮面接を受けましょう。嘘です。まあ、つまるところ我々は何かよくわからんことをやって寮で生きているのです。あなたもその一員になりませんか？



ちゃんと、「食べてもいい?」って聞いてから 食べましょう。

京大YMCA会則

▽ 入寮選考委員長

第1章 総則

第1条 本会は京都大学キリスト教青年会(略称を京大 YMCA)と称する。

第2条 本会は主たる事務所を京都市左京区吉田牛ノ宮町21番地におく。

第3条 本会は財団法人日本YMCA同盟に加盟する。加盟することによって「YMCA」という名称を使用し、日本の YMCA、世界のYMCA活動に関わる。また、併せ、日本 YMCA 同盟を通して、WSCF(世界 学生キリスト教連盟)に加入する。

第2章 目的及び事業

第6条 本会は、聖書に基づいた人間形成を目指し、京都大学の内外にキリスト教の心理をひろめ、キリストの愛と正義とを生活の前面において実践することを目的とする。

第7条 本会はその目的を達成するために、会館および学生寮を運営し、その他諸種の事業を行う。

第3章 会員

第8条 本会の会員は、京都大学の学生、卒業生、修了生、教職員、旧教職員、第三高等学校の卒業生、及び理事会で承認または推薦した者で京大YMCAの目的に賛成するものとする。会員の入会及び退会は、別に定める手続きによるものとする。

第9条 本会会員は次のごとく区分する。

1.一般会員

- (1) 学生会員 大学生・大学院生、その他の研究生などの学籍を有するもの
- (2) 維持会員:卒業生、修了生、教職員、旧教職員

2.賛助会員

本会の目的に賛同し活動を支援する個人または団体 3.特別会員 理事会の特に推薦する個人

第11条 一般会員、賛助会員は会費を納入しなければならない。会費については別途定める。

毎週運動がチャージを要してくるかも

第4章 役員並びに理事会第12条 本会は会務を処理するために、次の役員をおく。

(1)理事長 1 名 (2)副理事長 2 名 (3)理事 若干名 (4)監事 2 名

第17条 理事会は少なくとも年四回、理事会を開催する。また全 理事の 1/4 以上の要求があった時には理事会を召集する。

理事会は本会の会務を執行する責任をもち、下の事項を扱う。

- (1) 基本財産の管理に関すること
- (2) 事業計画、事業報告を総会に提出すること
- (3) 収支予算、収支決算を総会に提出すること
- (4) 総会の決議を要する事項につき、その議案を総会に提出すること
- (5) 総会の決議を執行すること
- (6) その他必要と認められる事項

第5章 総会

第23条 総会は第9条に定めた一般会員をもって組織し、議長は出席者より選任する。

第24条 本会は理事会の招集により毎年1回定期総会を開く。

第25条 下の事項が総会の権限に属する。

- (1) 本会解散の決議
- (2) 日本YMCA同盟及びその他の団体への加盟または脱退
- (3) 本会則の廃止または変更
- (4) 事業及び会計に関する理事会ならびに監事の報告の承認
- (5) 事業計画及び予算の議定と決算の承認
- (6) 役員の選任
- (7) 理事会より提出された議案の審議
- (8) 役員が不正不法の行為を行ったときこれを解任すること
- (9) 会員に不正不法の行為、その他本会の目的に反する行為のあったときこれを除名すること
- (10) 会費の変更
- (11) その他必要と認められる事項

電話が止められたことに誰も気づかない。

地の塩

▽ 木圭土反

あなたがたは地の塩である。だが、塩に塩気がなくなれば、その塩は何によって塩味が付けられよう。もはや、何の役にも立たず、外に投げ捨てられ、人々に踏みつけられるだけである。

これはマタイによる福音書、5章 13 節の言葉です。聡明な読者の皆さんなら気づかれた方も多いと思いますが、「地塩寮」の名前はここからきています。また、聡明な読者のみなさんならご存知かと思いますが、「マタイによる福音書」というのは新約聖書の一部なんですね。え、じゃあ地塩寮ってクリスチャンばかりなの？と思いきや、そういうわけでもなかったりします。確かにここはキリスト教の団体が作った寮ではあるけれども、その中にいる人間の宗教や考え方は多種多様です。そういう僕もクリスチャンでもなければ今後クリスチャンになるつもりもありません。

さて、若干話は変わりますが、冒頭の福音書の言葉、意味わかりますか？この言葉はイエスが彼についてきた群衆に放った言葉であるので、イエスは彼らに「お前らは塩！」と言ったことになります。え、なんで塩？価値ないなあ…と思った方も多いと思いますが、この当時内陸では塩って「ものの腐敗を防ぐ」という役目を持った貴重なものだったらしいです。京大入試も御用達の YaOo 知恵袋に載っていました。つまり、「あなたがたは地の塩である。」は「あなたがた群衆は世の腐敗を防ぐことができる貴重な存在です。」と解釈することができそうですね。「塩気」も世の腐敗を防ぐ能力と解釈できそうです。ではこの塩気って、具体的にどういうものなんでしょうかね。世の腐敗を防ぐために必要なものってなんなんでしょうか。

ここからは何の裏付けもない解釈になるし、紙面の都合上ここで書くつもりはありません。もしこれ以上の議論をしたいのでしたら地塩寮に来てお話ししましょう。楽しみですですねー。

人生に方程式 なんて もの は ない
それが俺の方程式

寮自治

▽ドライバー

地塩寮に興味を持ち、このページを読んで下さる方々、ありがとうございます。このページでは、寮自治に関する心構え的なものについて書いていきます。

そもそも「自治」とは何なのでしょう。某サイトでは「自分や自分たちに関することを自らの責任において処理すること」と定義されています。寮の自治は個人的な考えですが、この「処理をする」という言葉がよく表していると思います。

寮生には各々役職が割り振られており、その仕事を滞りなく遂行することが寮自治における各人が果たす大きな役割の一つです。役職ごとに仕事量にかなり差があり、具体的にどのような役職につかは、入寮後に決まります。毎年役職は変わるため、ずっと負担が大きいということは決してありませんので、安心してください。役職の中に理事職というものがあります。理事職は月に一度の理事会に出席し、先輩理事の方々と意見を交換することで、寮のあり方等について考える非常に大切な機会なので各寮生が在寮中に必ず一度担当することになっています。

もう一つ重要な仕事があります。会議に出ることです。地塩寮では月に一度の寮例会と年に一度の総会があります。寮例会では寮生と話し合い、寮生活に関するあらゆる事柄を決定していきます。総会は一年間の報告を寮の卒業生の方々にする場です。会議では最低一回発言しましょう、などということは求められていません。発言するか否かは個人の自由です。ただし、自分の考えがある場合はしっかり伝えるようにしましょう。さもなくば、納得のいかないルールに従って生活することになります。意見を出すと言われても最初は難しいと思いますが、徐々に慣れます。回数が多いわけではないので、スケジュールを管理して、出席できるようにしましょう。

最後にその他雑用を処理することがあります。トイレトペーパーが無くなっていたら補充する、自分が食堂にいるときに郵便物が来たら、他人のものでも受け取るなど様々なことがあります。これら雑用は役職と違い割り振られるわけではないので、義務ではありませんが、誰かがやらなければ、寮生活は成り立っていきません。大切なのは思いやりの心なのかもしれません。

以上でこのページは終わりです。少しは寮自治について理解を深めていただけたでしょうか。たくさんの方と面接の場でお会いできることを楽しみにしています。

鴨川の向こうはキラキラして見える。

聖書研究会

▽ ぼ

聖研こと聖書研究会。月一回、地塩寮の食堂で講師に牧師先生をお呼びして行います。自由参加で、その月の担当者が決めた聖書の箇所について自由に話し合います。

Q.聖書研究会って何をするの？

A.ある月の聖書研究会の流れを紹介します。

- ① 讃美歌をうたう(ギター伴奏:地塩寮の自称エリック・クラプトン)
- ② 近況報告などなど雑談しながらお菓子を食べる
- ③ その月の担当の寮生が選んできた聖書の箇所を輪読
- ④ テーマに関して好き勝手に話す、ときどき関係ないことも話す (すべての道は聖書に通ずる…かもしれない)
- ⑤ 牧師先生のまとめ
- ⑥ 讃美歌とお祈り

内容は月によって様々で、イエスを考古学的な視点から特集したビデオをみんなで見たこともあります。

Q.キリスト教とは無縁なのですが…

A.聖書研究会に特別な知識は必要ありません。聖書っておいしいの？という方も大歓迎です。自分の考え方についてふらっと話して、他人の生き方をちょっと垣間見て、自分という人間が少しだけわかった気になればたら万々歳です。ちなみに聖書研究会はお菓子とソフトドリンクが無料で手に入る、実はおいしいプログラムです。

ゼットエインに未来をたくそう!!

Q.講師の牧師先生はどんな方ですか？

A.講師は日本ナザレン教団花園キリスト教会の篠澤俊一郎牧師です。

篠澤先生は面白い方で、京都でこどもの貧困に取り組んだり、東北大震災の被災地東松島市の学習支援をされたりしています。その穏やかな姿の裏に実は激動の人生が…。

Q.聖書研究会の魅力は？

A.人生で自分が一番大切にしていること、どうしても譲れない哲学、日々の生活のなかですこし心が揺れたこと…などなど、普段はあまり話さない話題を通して、寮生の隠れた一面を見られるのが聖書研究会の魅力です。良くも悪くもキリスト教は三大宗教の一つで、キリスト教的考え方はいろいろなところに隠れています。聖書という世界のベストセラーを通してキリスト教的な見方を学ぶのも、面白いかもしれません。

少しでも興味のある方は、ぜひ一度参加してみてください。

もっと詳しい内容を知りたい方は [花園教会 聖研](#) で検索

スペースが余ったので、最近出会ったちょっと気になる言葉を。

Even if I knew that tomorrow the world would go to pieces,

I would still plant my apple tree.

-Martin Luther

お金ほしい

会館

▽ 郡じゃない

某寮生(以下寮)とその友人 A(以下 A)の会話。

寮「京都大学 YMCA 会館って知ってる？ ヴォーリズって建築家の初期の作品やねんけど。」

A「なにそれ？ いやまず建築家の名前言われたって知らんし。」

寮「...東一条通り沿いのファミマの向いにおっきくて古めの建物あるやん？ あれのこと。」

A「ああ、あれ？ 地塩寮ってあそこなん？ っていうかあそこに住んでんの？」

寮「地塩寮の敷地ではあるけどあの建物に住んでるわけじゃない。あれの奥にもう一個建物あって、そっちが住む用やねん。」

A「え、じゃあ何のためにあるん？ なんか入口っぽいところに登録有形文化財って書いた標識あるの見たことあるけど、めっちゃ重要で立ち入り禁止とか？」

寮「いや、むしろみんな使ってる。読書室があったり、二階が音楽のホールになってたり。一階には卓球台もあって、よく寮生同士で試合してる。」

A「いや、それただの多目的ホールやん。」

寮「確かにそうかも。コンサートやったり寮の総会(一年に一度の大事な会議)開催したりいろいろ使ってるからね。」

一回生のころはこんな会話をよくしました。確かに何も知らない人から見たら地塩寮の会館って不気味だし訳わかんないですよ。よくよく聞いてみると廃校になった小学校だと思ってた、なんて人も…。実際には、親しみやすい、地塩寮のシンボルともいえるような建物です。個人的には読書室が好き。独特の雰囲気があります。

なにとはともあれ、皆さんも来てみたらきっと気に入るはず！ 地塩寮を見学の際にはぜひ会館にも注目してもらえたら、と思います。

2階住民はいつもいない

食堂について

▽ おしゃかしやま

食堂と聞いて皆さんはどんなイメージをお持ちになるだろう。高校時代に友達とお昼ご飯を食べた思い出の場所？行列必須で座る場所探しすら困難な場所？（この記述については大学に入学したらお分かりになるだろう。）安くてボリュームたっぷりのご飯が食べられる場所？人によって様々だと思うが、我らが地塩寮の食堂に関しては、「共有スペースかつ寮生同士の憩いの場」くらいに思ってもらいたいと思う。

食堂にはテーブルと椅子、ソファ、こたつ（冬）、テレビなどがある。寮生はここでご飯を食べたり、テレビを見たり、勉強したり、他の寮生とおしゃべりしたり、楽器を演奏したり、ソファやコタツで寝ていたり…。みんな思い思いに過ごしている。某野球テレビゲームや配管工のおじさんが大活躍するゲームの効果音を聞きながら課題をすることが私の中で当たり前のことになってきた。いろんなことが同時に起こっているからたまになかなかカオスなことになっている。それはそれで楽しい。食堂にはエアコンがついているので夏には涼を、冬には暖を求めて食堂にいる人が増える。嬉しい。

食堂では月に1度の寮例会や時期ごとに開催されるコンパ(ex:新歓コンパ、七夕コンパ、クリスマスコンパ etc...)が行われる。寮生がほぼ一堂に集結するので普段なかなか会えない寮生とも会えたりする。

普段なかなか会えない寮生、と書いたが、食堂にあまり出沒しない寮生はレアキャラ扱いを受けることもある。（忙しかったり生活リズムが合わなかったりして会えない人もいるが。）最初は、まだ出会ってばかりの人が普通に生活している空間に入ることは緊張するかもしれない。でも、ちょっとでもいいから食堂に降りてきて他の寮生を交流してみしてほしい。あなたのことを知りたいと思っているのだ。たわいのない話で盛り上がりたいと望んでいるのだ。平成29年度の新入寮生は食堂に出現する時期が例年を比べて早い方だったらしいので、ぜひ今年度の新入寮生はそれを更新してほしい…笑

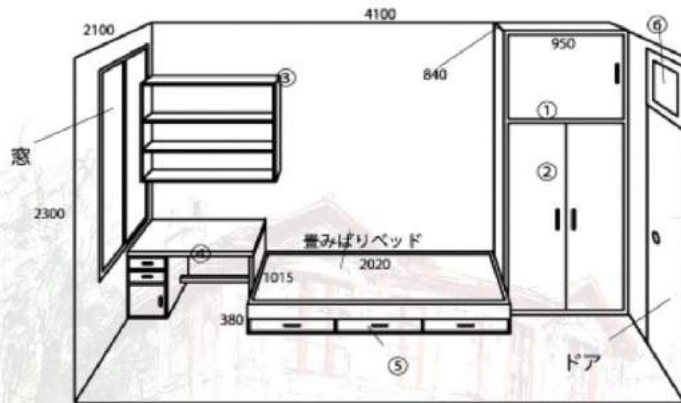
「ただいま」に対して「お帰り」と言ってもらえる。「行ってきます」に対して「行ってらっしゃい」と言ってもらえる。一人暮らしではなかなか味わえない寮ならではの長所を1番感じられるのは食堂といっても過言ではないと思う。人がいる温かみは良いものです。時にはみんなでわいわいしようぜ。

3階住民もあんまりいない、

設備と費用

▽ ビオフェルミン

○個室について(4.3 畳、全室南向き)



①・②: 立て付けのクローゼット

③: 立て付け本棚

④: 机(可動)

⑤: 立て付けの畳張りベッドと収納

⑥: 天窗(換気用)

・コンセント2口×2

・共用無線 LAN



・冷暖房設備は特にありません。自分で扇風機や電気ストーブ、ホットカーペットなどを買って生きていきましょう。ただし部屋によっては前住人が残していってくれている場合もあります。また窓にエアコンを取り付けることも可能ですが、その場合は月に 3000 円かかります。

・Wi-Fi の接続状況は部屋により大きく異なります。

・部屋によって状態は違います。部屋を選ぶのは先着順ですので、もし気に入らない部分があれば、好きなようにアレンジして、自分の部屋を楽しみましょう。壁紙を貼ったり、ペンキで塗ったり、机の位置を変えたりして素敵な部屋を作り上げている寮生が多くいますよ。

4階住民はいつもいる。

○設備について

食堂：共用スペース。テレビ、ソファー、こたつ、エアコン、ガスストーブ、印刷機などあり。

厨房：炊飯器いくつか、調理器具、様々な調味料、食器一式、ガスコンロ4口、レンジ、トースター、オーブン、パン焼き器、ワッフルメーカーなどなど。

※冷蔵庫は自分専用のものをそれぞれ自室の前に置いて使っています。

水場：シャワー室(3室)…それぞれの使用時間は7～23 時、7～24 時、7～25 時。ただし一室のみ静かに使うことを前提に24時間使用可能(男女共用)

洗濯機(3台)…7～22 時まで使用可能(男女共用)

トイレ・洗面所…各階3室ずつ洋式トイレあり(男女共用)

物干し…屋外3箇所、2階に除湿機付き女性専用物干し部屋あり

猫：推定十代後半の雌猫(名：しゃみ)がいる。猫アレルギーの人は気をつけよう！

○費用について

入寮時に必要なお金：49,100 円

内訳 入寮保証金(退寮時に返金) 20,000 円

雑費保証金(退寮時に返金) 28,000 円

入寮入会金 1,100 円

毎月必要なお金：24,000 円

内訳 寮費 10,000 円

雑費 14,000 円

※火災保険等は寮で加入しているため、個人で入る必要はありません。

音楽系学生が多いです。君もMusic Friendだ！

他大生・留学生・大学院生について

・他大生の話

▽ Maddie

地塩寮には京大生じゃない人も住んでいます。地塩寮の入寮資格は、「大学に籍を置くもの(在籍大学・回生・性別・国籍・宗教は問わない)」であるからです。京大生じゃないからと言って、寮内では全然特別扱いしてもらえません。しいて言えば、自分の大学の愚痴(実習がきついとか、テスト多いよーとか)をへーそうなんだ、大変だねと聞いてくれます。夏休みや春休みは、大学ごとに少しずつ時期がずれるので、みんなが食堂でテスト勉強をしているときに横でテレビを見られるのはなかなかいい気分です。もちろん逆のこともあります。まあ、大学が同じでも学部生と院生、ドクターの人とか、部活に入っているかなどでそれぞれ生活スタイルもスケジュールも違うものです。他大生は通う場所が違うだけで暮らしてて違和感はありません。気を付けなければいけないのは、そうはいつでも他大生はマイノリティなので、寮の行事が京大の授業日程を考慮しながら設定されることが多く、自分の都合とあわないことがあるかもしれないということです。それがいやなら寮例会で自分の意見をしっかりと発信しなければなりません。がんばろう。

他大生で地塩寮に興味をもってくれたあなた、ぜひ寮生として寮の多様性に貢献しませんか。

・留学生の話

▽ J.Z.

初めまして、C国から来た留学生Zです。10ページ「寮自治」を読んでもらったらわかると思いますが、地塩寮は自治寮であり、留学生も例外なく何らかの役職につくことになります。例会で意見を交換したり仕事で寮外の人と接することがあるので日本語が話せることが望ましいですね。私の場合は広報をやっています。Twitter アカウント@chienryo で適当な情報を載せるのが仕事です。うん、なかなか眩けないけどフォローしてくださいね。

ゲーム募集。ア=X同好会もよろしく。
PS2, PS4, GC, SFC, FC 一緒に7ソア=Xを見ようよ。

・大学院生の話

▽ ジュンチャン

このページを読んでいるあなたは、おそらく大学院生だろう。ごきげんよう！進捗どうですか？…万が一学部生等の若者が読んでいるといけないから、大学院生という謎の生き物の解説を軽くしておこう。

大学院生というのは、年増の学部生の成れの果てのことである。彼らは—彼らのうち多数は—「え？まだ学生やってるの？」「いつになったら就職するの？」などという暖かいエールを実家や友人から受け取りつつ、研究という意味不明の無給労働をこなしている。学部生諸君、君らが入寮した暁には、どうか怖がらないで生暖かい目で見守って欲しい。

…さて、このページを読んでいる多数派たる大学院生諸君が気になるのは、ずばり、「本当に大学院生も受け入れてくれるのだろうか」という一点だろう。この寮の入寮条件は「大学に所属していること」だけであるから、理屈の上では院生だって、ポスドクだって、あなたのラボのボスだって、入寮することができるはずだ。

結論から言おう。地塩寮には過去数年で数名の院生受け入れ実績がある。今現在も大学院入学と同時に入寮した寮生が在籍している。

…甘い話には裏がある。老練な大学院生諸君にはもうお分かりだろう。自治寮という体裁をとっているこの寮の一員になるということは、それなりの働きを期待される。さらに、少人数故か、寮生間でコミュニケーションが取れたほうが望ましい、という空気もある。…あなたの大学院生活は、寮生活と両立できるものだろうか。これは必ず問われるだろう。

我々が院生に対して特別に問うのは、その一点だけだ。この一点だけをうまく突破できれば、経験豊富な大学院生諸君には、いくらでも自分をアピールする手段があるはずだ。健闘を祈る。

祇園四条 vs 神宮丸太町 どっちが勝つか。

異性について

▽ フラン

「完璧な女などといったものは存在しない。完璧な男が存在しないようにね。」

～「異性」について、僕が大学生のころ偶然に知り合ったある作家

地塩寮は、大学に籍をおくすべての人に入寮資格があり、性別については不問である。性別の分け隔てない共同生活が営まれています。ここではそれに付随シウル問題について話そうね。

部屋は個室であり、階ごとに性別で分けられません。食堂やトイレ、シャワー、洗濯機、物干し竿も、すべての寮生が共用でつかいます(ちなみに、2階には女子用物干し部屋あり)。個室の中では、爆音でパンクをかけながら二重飛びのギネス記録に挑戦でもしない限り自由だけれど、シャワーから裸のままで出てくるとか、酔っ払ってえぐ味の効きすぎた下ネタを飛ばすとか、物干し竿に堂々と下着を干すとか、そういう行為は控えるべき。洗濯機の中に洗い終わったものを放置するのも、後に使う人が取り出しているのかどうか苦悶するはめになる、気を付けましょう。

この「異性について」という題を冠した文章は毎年入選パンフに載つけられる。要するに、うら若い男女が一つ屋根の下で集団生活なんて不安でたまらないわ、先輩からのセクハラが横行してるんじゃないの、などといった不安を解消するためにページを割かれているわけだ。確かに目的について分からなくはないが、僕はこの題に大きな違和感を覚える、女子寮生は男子寮生に、男子寮生は女子寮生に対して(のみ)マナーを守っていればいい、という空気をまとっている気がするんだ。

共同生活を送るにあたってそんな態度をとるのはあまりに怠慢だと僕は思う。「異性」に対するマナーは、「同性」に対してはとられないのか。「女らしい」面をもつ男、「男らしい」面をもつ女、そんなのいくらでもあるだろう。女だからって女を、男だからって男を好きにならないのか？異性愛がマジョリティだからって、それだけが「正常」だとどうして言えるんだ？「性」に対するとらえ方は、一人ひとり全く異なるものだ。それをどうして「異性」という言葉ひとつにまとめてゴミ箱に投げられる？

「え、自炊するの？ えら！」 「いや、そんなことは…」
 「え、自治会なの？ すげーい！」 「いや、そんなことは…」

つまり、社会でいまだに性別二元論が大きな顔をし続けているのはね、アイデンティティの分類を簡略化できるからなんだ。僕たちが生きていく時、たくさんの人と関わらなければいけなくて、しかもその全員と腹割って打ち解けあうための時間も、熱意も、足るわけない。あの人は男だから、私は女だから、シンプルに二項対立で話を進めれば、美しく見やすい解答が書ける。京大合格も間違いない...

言いたいことはつまり、「その人」それぞれで一線引きたい場所も度合いも変わるんだから、何事もひとまとめにして片付けないでということです。せめて一緒に暮らす人たちとは、その努力をしていきたいものです。

余談ですが、最近心に残った出来事を話させてください。

～ある日のサークル内での会話～

フラン「みてみて！この前ラザニア焼いたんだ～（写真を見せる）」

友人 A「え、すげーじゃん、美味しそう、女子力高いな」

友人 B「フラン良い主婦になれそうだな」

フラン「寮生は性別問わず自炊普通、生きる基本であるべき食事が「女子力」にさらには「主婦」という将来像にまで自然に結びついてしまうことのおかしさよ。」

友人 A・B「ごめん」

「僕の言いたいのはこういうことなんだ。一度しか言わないからよく聞いておいてくれよ。僕は寮生が好きだ。あとひと月もたって、地塩寮に入ってくれたら、僕のいま言ったことも思い出してくれ。」

～「異性」について、鼠

君と一緒に花札に興じていたのさ!!!

仕事について

▽ オゾン

こんにちは。このページでは「仕事」についての説明をしたいと思います！まず、地塩寮は自治寮ですので寮の運営や管理は基本的に自分たちの手で行います。全員が仕事を与えられ皆で快適な寮生活をつくっていきます。これらの仕事に特別な能力は必要ありません。必要なのは寮生としての自覚と責任感と思いやりです♡

☆ 理事職について

理事職とは寮の運営の中枢を担う仕事の総称で、寮の代表として理事会と総会に出席し卒寮生と話し合う。(理事会とは月に1回、卒寮生の代表と理事職の寮生が話し合う会です。学生だけの寮例会では得られない卒寮生の視点から助言をいただけます。) 原則として入寮二年目の寮生は理事職か後述の入寮選考委員長をやることになる。

- ・寮長:寮の責任者で寮例会の運営をする。
- ・副寮長:寮長をサポートする。
- ・財務:京大Y、寮のお金を管理する。
- ・再建:老朽化が進む寮を再建するために中心となって動く。
- ・事業:全国のYMCAと京大Yの連絡役になり、京大Yとしての活動を活発化させる。
- ・総務:理事会の司会進行をつとめ、総会の準備と運営を行う。
- ・庶務:理事会運営を補佐し、総会の準備と運営、資料の発送などを行う。
- ・会館:会館を利用する団体の窓口となり会館の管理をする。

本名で twitter 始めちゃいました。

☆ 理事補佐について

理事を補佐する役職。理事になる前に経験を積むことができる。

・財務補佐、再建補佐、事業補佐、庶務補佐がある。

☆ その他

・入寮選考委員長:入寮選考の準備、運営を取り仕切る。

・編集:寮生文集、入寮選考パンフレットなどの編集をする。

・広報:HP や Twitter で地塩寮の活動を世界に対して発信する。

・雑費:寮生から雑費を集め日用品、調味料などを買うお金を管理する。

・宿泊:宿泊室を維持管理し宿泊代金を集める。

・聖研:毎月行う聖研のセッティングを行う。

・イベント:寮内のイベントを取り仕切る。

・監査:財務、雑費の帳簿と現金・預金を照らし合わせて誤りがないか確認する。

・駐車場:寮から徒歩 5 分ほどのところにある駐車場を管理する。

・掃除:寮の共有スペースの掃除を取り仕切る。

・厨房:厨房の衛生管理や調理器具などを管理する。

・消耗品:救急箱の中身や日用品を補充する。

・情報図書:電話、インターネット回線、プリンター、印刷機の管理。寮生の意見を聞き、本を購入する。

・営繕:寮の設備を修繕する。

・前庭:寮の前庭の環境を整える。

食堂のTVは戦争です。権利は勝ち取るもの

寮父・寮食のページ

▽ Vネック

寮父について

地塩寮の一階には寮父の小坂さんが住んでいます。普段は一階の掃除・ゴミ出し・寮食づくりなどで寮生の生活を支えています。それ以外にも困ったときの相談相手になってくれたり、キャッチボールを一緒にしてくれたり、小坂さんはとても優しく地塩寮生を見守ってくれています。

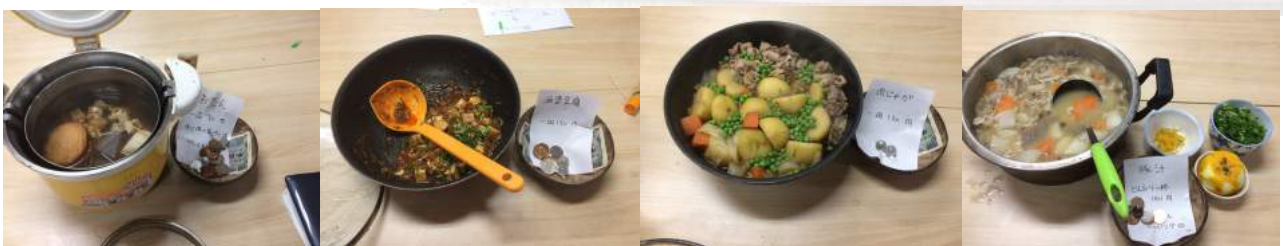
寮食について

地塩寮では平日の夕飯を小坂さんの作る寮食で済ますことができます。

寮食は主に主菜と副菜(副菜は無いこともある)から成ります。主菜は 120 円前後、副菜は 30 円前後のことが多いです。主食は各自用意することが多いようです。価格はとても安いですが、メニューはとてもしっかりしているので、栄養面や量で困ることは無いでしょう。ありがたい話です。

寮食は 18:00 から 18:30 に完成され、その後食堂に置かれます。寮食を食べたい人はその場でお金を払い、自分の分をよそようになっています。人気メニューの場合は瞬時に寮食が無くなることもあります。大抵は食べたい人が食べたい時に食べたい分を食べられるようになっています。事前に小坂さんをお願いをしておくことで、その分だけ取り置きしてもらうことも出来ます。

(寮食のメニューの例: 左からおでん、麻婆豆腐、肉じゃが、豚汁)



ハラハッワ

京大 YMCA プログラム

▽ 蛙のしっぽ

こんにちは。寮生類の蛙のしっぽです。私からは京都大学 YMCA の学生 YMCA(学 Y)の活動を紹介しようと思います。

具体的には、聖書研究会(聖研)、夏期ゼミナール(夏期ゼミ)、etc。毎年、たくさんの寮生がここ牛ノ宮スペースから各都市 YMCA、日本 YMCA、さらには世界 YMCA の活動に参加しています。

以下は参加者の感想です。

(1) 全国 YMCA 夏期ゼミナール(夏期ゼミ)

▽ 師走

YMCA 夏期ゼミナールは、全国様々な場所から集まった学生が統一されたテーマのもとに意見を交換し合い、議論をするというものです。今年はジェンダーと性産業を切り口として「視点を変えて誰かの生きづらさに目を向けよう」といった内容でした。3泊4日の長丁場ですし、京都から静岡県御殿場市までの移動もあるため、それなりに大変です。ですが、人と話すことで意外と自分では分かっていなかった思い込みに気がついたり、今回はジェンダーの問題でしたが、異性から見たジェンダー問題の視点を垣間見たりできて面白かったです。また、僕としては夏休みで狂った生活リズムを叩き直されたのも記憶に残るところです。

(2) 京都地区プログラム

▽ Milou

そもそこの京都地区プログラムは、同じ区画に住みながらも疎遠になりがちな地塩寮生と橘井寮生、関西主事宅住人の交流を促すことを目的としているとかなんとか。

今回の京都地区プログラムは、地塩寮の前の微妙な空き地で行われ、調理は地塩寮と橘井寮(※)の厨房を使って、寮生間の交流を持った。空き地に簡易ピザ窯を召喚し、ピザやグラタン、ローストチキンを主事宅の方々のおかげでそれっぽく焼けた。雨が降ってきたので会館に移動し、

お花見しようよ (提案)

できたご飯を食べながら、ちょっとしたディスカッションを行った。夏期ゼミ前だったので、夏期ゼミ内容の導入のようなもの(アニメに見るジェンダー観)に触れた。最後に、ピザ窯で燻された体を洗いにみんなで銭湯に入った。湯船最高！

同じ敷地に住む者が一堂に会して文字通り同じ釜の飯を食うというのは、非常に面白い光景、平和な風景なのでは。胃袋で繋がれる関係っていいねえ。

※橘井寮(キッセイ寮):京都府立医大 YMCA の寮。ヴォーリス建築を今に遺し、暮らしている。台所がめちゃ綺麗。(地塩寮生に比べて)みんな忙しそう。

初夏には寮対抗ソフトボール大会があり㊦。

※関西主事宅:同じ敷地内に頼もしい YMCA の先輩方が住んでいるよ。

※牛ノ宮スペース:地塩寮のある区画。広い。橘井寮と主事宅、会館、広大な駐輪スペースがある。ご近所の方の抜け道にもなる。

(3)NSCF(North Student Christian Federation)

▽Hash Taka

毎年北海道大学 YMCA 汝羊寮(じょよう寮)と、東北大学 YMCA 涇水寮(けいすい寮)が行っている NSCF というプログラムに、前年度初めて参加しました。プログラムの主な内容は親睦を深めることで、普段なかなか会えないほかの学 Y 寮の人々と交流できるのがすごく楽しいです。もちろん、遊ぶだけではなく、それぞれの寮のスタイルで聖書研究をしたり、寮での悩みを共有して解決方法を考えたりとやることはやってます。ただ、全体としてハードルが高くないプログラムなので、参加してみたいかがでしょうか。例年、前述の夏期ゼミの後に行われるので体力的に少ししんどいですがいい経験になると思います。9 月の北海道は少し寒いです。長袖で行きましょう。

(4)日韓交流プログラム

▽ラッキーナンバー21

Freddie の 胸毛 になりたいよ。

日韓交流プログラムは、日本と韓国の学生 YMCA の交流を目的としたプログラムです。日韓の学生がそれぞれの社会で抱える社会問題について学び、これからを担う若者として何ができるのかを考えるという内容になっています。

今回は、「We are the World～手を取り合って生きること～」をテーマとして掲げ、基調講演やフィールドワークを通して差別問題やマイノリティについて学びました。コリアタウンやモスクなどといった普段なかなか行くことのない場所を訪れ、ヘイトスピーチなどについて学び、そこで感じたことを英語を使って韓国の学生とシェアリングをするという活動を通して、今まで自分がそういった社会問題に対して無関心になっていたのではないかとということを気付かされたプログラムでした。

(5)インドスタディキャンプ

▽タンタン

ざっくり言うと、約 20 日間インドで過ごすプログラムである。私にとって海外渡航自体が初めてであり、インド出国前は期待と不安が入り混じっていた。実際にインド行って気が付いたのは、「割となんとでもなる」ということ。インドでの生活は、日本での「清潔」で「便利」な暮らしとは程遠いものであったが、自分の適応能力が高かったのか意外にも快適に過ごすことができた。

インドで見た光景はいずれも印象的であった。本でしか読んだことのないカーストによる問題を実際にインドに暮らしている人々から伺うことができ、桁違いの生々しさを感じた。また干ばつなどの環境問題の爪痕や原発の建設など様々な「社会問題」を肌感覚でもって感じることもできたのは、インドスタディキャンプならではの経験だと思う。

今回の旅を通して、強く意識させられたのが、日本に住む私とインドに住む人々の立ち位置である。彼/彼女らに自分は一体どのように見られているのか、立場は対等になりえるのかなど、様々なことに思いを巡らせる機会になった。

そんなインドのリアルな光景を、学Yの仲間と一緒に目の当たりにし夜は聖研で語り合う…このような経験は何ものにも代えがたいものである。

「学生 = マブダチ」とは、限らないんだよねあ〜。

寮生活について

▽ じゃんじゃん

8:30 起床

適当に朝食を買い 8:45 発桂キャンパス行きのバスに乗り、桂キャンパスへ。私は大学 4 回生で工学部であるから、新入生諸君には馴染みが薄いと思われるが、桂キャンパスに通っている。桂キャンパスというのは京都市の西サイドにあり、吉田キャンパスからおよそ 12km のところである。キャンパス手前に長い坂があり、自転車諸君はここで苦しめられる。完全に桂の紹介になってますね。笑

9:30 桂キャンパス到着

そんなこんなで研究室に到着し、実験を開始

途中休みつつ、本日の実験を遂行する。

12:00 昼食

大抵桂キャンパスの食堂でご飯を食べる。

13:00 実験再開

実験中は立ちっぱでするので体力が消耗されていきます。

19:15 夕食

だいたい 18:30 ぐらいには研究室を出て、夕食は寮で食べることもあるが、食堂などでの外食がメイン。

21:00 練習

私は京大のオケに所属しているため、練習を行う。

24:00 帰宅

日にもよるが、だいたい 24:00 前後で帰宅。

【月曜 1 限】**名** 時間割上に存在する概念。

整理票（2018 年度 地塩寮入寮選考）

●この「整理票」を、作文と一緒に 3月12日（月）お昼12時までに提出してください。詳細はパンフレットを参照してください（必ず青か黒のボールペンでの記入をお願いします。）

入寮選考事務の為に、以下の項目を記入してください。なお、記入していただいた内容は入寮選考以外の目的には使用しません。

氏名： ふりがな 年 齢：

大学・学部・学年（4月時点）_____

現住所：_____

携帯電話番号：_____

メールアドレス: _____

入寮選考当日の連絡先： 携帯電話 / メール / その他

★面接前日・当日の宿泊を希望する方は希望日に○を付けてください。

3月12日 3月13日 その他（ 月 日）

★抽選の結果面接を受けられない場合でも宿泊を希望しますか。(はい ・ いいえ)

※宿泊は 1 泊 1500 円で原則、男性は相部屋、女性は個室となります。希望人数が多い場合、寮の空き部屋も用意しますが、いずれも同一料金となりますのでご了承下さい。またトイレ・シャワー・洗濯機はご利用いただけますが、アメニティ用品は備えておりませんので各自でお持ちくださいますようお願いいたします。

★下の A～C の中から面接の希望時間帯を選んで下の欄に記入して下さい。

第1希望 () 第2希望 ()

特に時間の希望がある場合は右に記入して下さい。()

A (9 : 00~12 : 00) B (13 : 00~16 : 00) C (17 : 00~18 : 30)

※面接時間より早く到着した場合、待合室でお待ち下さい。寮生が案内いたしますのでそちらをご利用ください。また当日の進行状況により面接時間が遅れる場合がございます。ご了承下さい。

面接を受けられなくなった場合はできるだけ早く地塩寮（075-751-9744）までご連絡下さい。

以下の5つの質問は選考の上で大切な質問ですので必ず答えるようにして下さい！

1. 地塩寮を知ったきっかけは何ですか？
2. 寮に何年住むつもりですか？その理由も含めて教えてください。
3. 地塩寮は第何志望ですか？また、地塩寮の他に希望・検討している住居があれば教えてください。
4. 地塩寮を選んだ理由はなんですか？3の質問で他の学生寮を挙げた方は、地塩寮がその順位である理由も教えてください。
5. 地塩寮入寮に伴う義務として、京都大学 YMCA（京大 Y）に入会してくれますか？

以下の質問は寮生が「あなた」を知りたくて聞いてみたい質問です。気軽に答えてください。

6. 入寮後、キリスト教や YMCA の活動とどのように関わろうと思っていますか？
7. 大学生活を、どんな活動を中心にして送りたいと考えていますか？
8. あなたはどのようなサークル、部活動に入ろうと思っていますか？理由も含めて教えてください。
9. 今までの人生で、「頑張ってきたな」と思えることは何ですか？
10. パンフレットで興味を持ったページはどれですか？その理由は何ですか？

- 1 1. この寮で異性と共同生活を送るにあたって、どのような配慮を考えていますか？
- 1 2. 共同生活を送るにあたって、自分は許せないだろうなということを教えてください。
- 1 3. あなたの人生観を変えた出来事は何かありますか？ある場合は、それがどのように影響しましたか？
- 1 4. あなたは、寮のどんなところに興味がありますか？
- 1 5. パンプなどを読んで、自治についてどのような印象をもちましたか？これまでのイメージと比べてどうでしたか？
- 1 6. 他人から見て、どんな性格だと言われますか？また、それについてどう思いますか？
- 1 7. 部活・学校などの集団生活で失敗したこと、そこから得た反省などがありますか？
- 1 8. 1 7の質問を踏まえ、具体的に行っている・心がけていることはありますか？
- 1 9. あなたの座右の銘がありますか？また、それが具体的な生活と関わっていたら教えてください。

☆自由記述欄☆

あなたを精一杯アピールして下さい！

お疲れ様でした。面接は20人前後の寮生の前で緊張するかと思いますが、（寮生も緊張しているので怖く見えるかもしれませんが、）リラックスして質問に答えていただければと思います。それでは、当日寮でお会いしましょう！

26:00 就寝

あれれ？全然寮で生活してないですね。はい、そうです。そこそこ忙しいんです笑

その中でも、疲れ切って 24:00 過ぎとかに寮に帰っても食堂に人がいて、話とかできるのはかなり嬉しく、安心します。あと、門限とかないのもいいですね。

学部 3 回生までは特にすることもないけど、食堂でぐうたらしたりすることもあったのですが、その辺は別の人の寮生活をご覧ください。


以上が私の寮生活でした。

▽ ヌケニン

寮生活について書くことになったのだが、実は僕、諸事情により現在休寮中の身であるため、最新の寮生活情勢を把握しきれていないのである。しかし、僕は曲がりなりにもこの寮に 5 年住んでいる古株ではあるので、かつての寮生活の模様も経験している。ここからは、長年かけて培ってきた(?)寮生活についてのあれこれを語っていこうと思う。

一言で寮生活と言ってみても、どのような生活を送るかは、寮生によりさまざまである。体育会系の部活に所属し、青春を部活に捧げている者、授業・サークル・バイト・遊びなどを器用にこなし、忙しい日々を送っている者、自由な時間を持て余し、のんびりと日々を過ごす者、などがある。ちなみに僕は三番目のタイプであった。授業が終われば寮に直帰して、食堂でゲームをしたり寮生と話したりして過ごしていた。退屈だと思う人もいるかもしれないが、のんびりした生活も良いものである。だがしかし、反対に超絶忙しい生活を送る人もいる。去年まで僕の隣に住んでいた寮生は、なんと、僕が起きる前に寮を出て、僕が寝た後に帰ってくるという、一体いつ休んでいるんだという生活を送っていたのだ。僕は彼女を鉄人と畏れた。とまあここまで極端ではないけれど、多くの寮生はいろいろな活動を行っており、それなりに忙しい毎日を送っているようである。

これまでの寮生活の変遷について書くとすれば、一昔前は、各々が個人の活動に精を出して好きなように過ごしているという印象であったが、最近は、寮生同士で集まって、何かを企画した

【6限】 試験期間中に突如出現する謎の概念。フランス語履修者要注意！

り遊んだりしているようである。ギスギスしているよりもわきあいあいとしている方が良いと思うので、この変化は嬉しいものである。また、以前は寮自治についてあまりにも熱意を持った人たちがいて、毎回寮例会が夜遅くまで続く…というようなことがしばしばあったが、最近では、いたずらに仕事を増やすのはやめて、必要な仕事だけをてきばきと済ませばよいという雰囲気が生まれており、寮生に過度な負担を強いることは無くなっている。巷でよく耳にする「働き方改革」のように、「寮自治改革」が進んでいるのかもしれない。

寮で暮らすことのメリットと言えば、「家に帰ったら人がいる」ことである。やはり、帰って人と話す場があるのはありがたい。僕は出不精であり外での交友関係はあまり広いとは言えなかったが、寮生がいるおかげで随分と楽しい時間を過ごせた。特に、4 回生になって研究室に配属されてからはより一層寮のありがたみを知った。一日研究室で実験をしていると、人と話す機会はあまりないし、あってもビジネスライクな表面的なものである。研究室から帰って寮生と世間話をして、ようやく人間に戻った感じがしたものだ。思い返しても、寮生同士で集まって鍋をつついたり、くだらない話で盛り上がったことが何よりの思い出である。このパンフレットを読んでいる君たちも、ぜひ地塩寮に住んで、かけがえのない思い出を作っていただきたい。

▽ 焼きいも

地塩寮のいいところはなんといっても学校(京大)に近いところ。授業開始時間の 10 分前に起きても、行く気さえあれば余裕で授業に間に合う。悪い点は、あまりにも近いため余裕をこいて授業に遅れること。ただこれは、近さの問題というより個人の性格の問題かもしれない。寮生は意外と早起きが多い。寝坊して起きて、廊下に自分のスリッパ以外が見当たらないとき(=自分以外すでに起きて食堂にいるか外出しているということ)のおいてかれた感。これも寮でしか味わえないものだろう。

大学の授業は、つまらないものが結構ある。もちろん面白いものもある。でも、面白い授業でも私の集中力は 90 分も持たないことが多い。自主休講もしばしば。理性的な判断に基づい

“Are you shopping?” “No, shopping.”

た自主休講なんだと自分で自分に言い訳したりするが、実際はサボりたい欲求に逆らえないだけだろう。もちろんこんな寮生だけでなく、ちゃんと授業を受けている寮生も多い。

あと大事なのは食事の問題。来たばかりのころはほぼ毎日自炊してた気がする。今ではもう考えられない。時間があるときや気が向いたときにはまとめて作ったりもする。あとはスーパーで夜安くなっている総菜を買ったり、寮食食べたり、外食したり。寮生の自炊スキルは結構高い(と思う)。聞くといろいろ教えてくれるので勉強になるし、寮生の食事はそれぞれに特徴があって、見ていておもしろい。

そしてもう一つ寮のいいところ。バイトやサークルの後帰ってきても、食堂に誰かがいる。平日の昼間でもたいてい誰かがいる。その安心感。寮にしかない空気があって、それがまた自分にとって心地いい。個人的には、相手のことを(いい意味で)あまり意識しなくていいと思えること。これは同じ空間で生活するからこそそのものかなと思う。そうはいってもやっぱり寮生は他人だし、一緒に生活する以上日常の様々な面で気を遣ったり、面倒だと思うこともある。他人に見られないで生活を完結できる一人暮らしをうらやましく思うこともある。でもいろいろ合わせて、ここに来てよかったなと思っている。

それと、休日(平日も?)の朝。会館から聞こえてくるピアノの音とともに目を覚ますと、けっこう優雅な朝を迎えられる。

▽ たけたけの妹

このページを書く前に何年も前の受験生時代を思い出しました。私は面接で

「この寮の雰囲気の家みたいで良いと思いました。」

「どこらへんが家みたいなの？」

「寮は玄関があって食堂が1階に、2階以降に自分の部屋があります。私の家はまず玄関があってリビングがあってその先に私の部屋が、」

あーめんどくせー

ここまで言ったら面接官の先輩に

「いやそういうことが聞きたいじゃなくて、雰囲気の話だね？」

と言われてしまいました。ここで動揺してその質問をどうやって答えたかはもう忘れてしまいました。私の最初の答えの続きは「帰ってきた時に「ただいま」って言えて、遊んだり話したりする空間があって、その先に寝たり一人になれる空間もある所が似ています。家ではとても嬉しいことがあった日もどんなに疲れている日も部屋に帰る前に誰かに会えます。また帰ってきた家族に会えることで色々な気持ちや時間を共有できます。一方で一人の空間も確保することで依存しすぎない良い距離感が保てます。寮生間にも同じような雰囲気を感しました。」ちゃんと自分の答えを最後まで言えなくて日本語が通じない子なのかな？と思われたのはまた別のお話。面接では時間がかかっても自分の言葉で考えを伝えられるように頑張っただけ。

私の解答は結構要点をつかんでいると思います。ただ誤解していた点があります。食堂は1階にあります。通らなくても自分の部屋に帰れます。自炊しなければ自分の部屋とシャワーとトイレだけで事足ります。アパートのように使うことができます。でも私は毎日食堂に行くし、寮生の大半はそうしていると思います。別に行かなくてもいいけど行ってしまいます。どうしてか？それは私の文才では説明できないので見学に来るか、このパンフレットの皆の“ことば”から読み取ってください。

寮生活について書こうと思ったのに私の受験時代の思い出話になってしまいましたね。私の寮生活についても少し書いておこうと思います。基本的には11時くらいには布団に入り自然に目が覚めるまで寝ます。たいてい7時くらいには目が覚めます。そこから朝食とお弁当を作って9時には研究室かバイトに行きます。部活、バイト、研究を終えて21時頃帰ってきます。少し食堂で喋って、お風呂に入って寝ます。私は規則正しい生活をしようと思ってしているわけではありません。誰かの小説で「時計から解放されたホームレスは時計のように正確に生きている」という趣旨のことが書いてありましたが私はそれに近いです。どうしても規則正しい生活を送りたいなら寮は向いてないかもしれません。夜中に歌声や麻雀、卓球の音、奇声などが聞こえます。それに朝早く厨房を使うと大抵汚いです。夜中に帰ってきて疲れてたんだろな～とか飲み会の後の片づけ

我々はみんな寮生、寮生活のルールと放しと放置して食材を食いつくすだ

って面倒くさいよな～と思いつつも朝から片づけをするのは少々気が滅入ります。でも私は外がうるさくても寝られるようになったし、多少汚い中でも生きていける強さは身につけられたかなと思います。それと朝起きて厨房がきれいだった時、誰かがやってくれたことに気が付けるし、感謝することができます。見過ごしていた誰かの親切に気が付いて感謝できるようになったことが寮生活で学んだことだと思います。

▽ 万年寝太郎

多くの寮生の寮生活を書いて欲しいということでつい最近の僕の一日を書こうと思う。

00:00-05:00 アニメを見ながら作業

05:00 就寝

12:00 起床

12:01 就寝

21:00 起床

21:00-21:30 ライフに買い物へ

-22:00 夕飯を済ませ就寝

さてこんな感じでいいのだろうかと思ったその君。

こんな感じの生活が許されるのはおそらくこの大学生活だけだろう。

皆も寮に入ってこんな生活を送ろう!!!!

No Alcohol No Life !!

入寮選考の流れ

▽ ちえぶ

こんにちは、入寮選考委員長のちえぶです。この度は地塩寮に興味を持っていただきありがとうございます。そして「ここで大学生生活過ごすのもありだな～」なんて思ってもらえているなら、ぜひこのページをよく読んで、【入寮選考】に応募してください！地塩寮の入寮選考は、「整理票」「作文」「面接」によって行われます。手順は以下の通りです。

1. 整理票と作文の提出

どちらも必須です。手書きの場合は、黒または青のボールペンで記入して下さい。メールで提出する場合と合わせて、氏名の記入を必ずお願いします。

整理票はこのパンフレットに挟まっています。面接時間や可否をお伝えするため、確実に連絡の取れる電話番号、メールアドレスを記入して下さい（寮生個人の携帯電話から電話、メールさせていただきます）。

作文は B5 用紙（ページ数自由）に記入して下さい。今年のテーマは「あなたにとって自明なこと」です。37 ページ以降に、このテーマで寮生が書いた「作文解題」が載っていますので、それらを参考にさせていただいても、もちろん全く違う方向性で書いていただいても構いません。

※提出していただいた作文・整理票の個人情報は、入寮選考以外の目的には使用しません。面接終了後に返却します。

2. 提出する

提出期限：2018 年 3/12(月) 正午必着

提出方法：①寮に直接持ってくる

②郵送する

宛先 〒606-8302

京都市左京区吉田牛ノ宮町 21

京都大学 YMCA 地塩寮 入寮選考係

4F 住民は容姿端麗、才色兼備気だてが良い

③E メールで送る

宛先 chien_de_yukkuri@yahoo.co.jp

件名は「入寮選考 応募 ○○(氏名)」をお願いします。

※締め切り時間が近づくとインターネット回線が非常に混雑する可能性があります。

【一次選抜について】

応募者多数の場合、整理表と作文を基に第一次選抜を行い、面接にお呼びする方を決定致します。結果に関わらず 3/12(月)16:00 より順次連絡し、一次選抜を通過した場合は面接時間をお伝えします。

3. 面接を受ける

3/13(火)9:00～18:30 のいずれか 30 分 に、地塩寮で行われる面接を受けていただきます(12、13 日宿泊可)。尚、応募してから面接まで、または面接中に入寮の意思がなくなった場合はなるべく早めにお伝え下さい。

4. 結果を確認する

3/14(水)14:00 より順次、合否結果を連絡します。寮内の連絡黒板でも結果を掲示します。午後 3 時を過ぎても連絡がない場合は、お手数ですが寮にお問い合わせ下さい(地塩寮 075-751-9744)。

合格通知を受けたその日から、寮に来て部屋を選び、入居することができます。引っ越す時に部屋を決めていただいても構いませんが、それぞれの部屋の壁紙や床は微差があって先着順のため、なるべく早めにお越しいただいて決められることをお勧めします。

夜が明けると朝型宿生に会えます。

作文解題 I

▽ 佳

最初に何を書こつかなあと考えた時に思ったのですが、このお題って、自分にとって自明なものごとの具体的な例について書けばよいのでしょうか。それとも自明であるということそれ自体について書くことを書けばよいのでしょうか。まあ正味どっちでもいいんでしょうけど、僕はどっちかっていったらこっちの方がわりかし書きやすそうやなーという横着な理由で主に後者について書きたいと思います。

まず、これはものすごく個人的な感想なのですが、自明である！って言われるとなんかイラッとしません？僕はします。ちょっとだけしょうもない話をさせてもらいますと、僕は理系のくせに数学がめちゃくちゃ苦手で、高校生の時には証明問題を解いてる時とか「自明なので…」ってどの基準で使ったらええねんってよく思いました。問題が解けなくて解答解説を見た時に「自明」とか書かれてたりしたら、「は？そこが分からんから解説見とんねんちゃんと説明しろや文字数省いてんじやねーよ」ってよく思いました。大学に入ってからもう数学の単位は取らなくてよくなって問題を解くこともなくなったので、今となってはあの苦しんだ過去も懐かしい思い出ですね。まあそんなどうでもいい話は置いて、他にもたとえば人に何かを尋ねた時に「え？そんな当たり前やん」って返されたら、ちょっと微妙に嫌な感じがしませんか？僕はします。腹が立つとかっていうよりは、梯子を外された感じというか、おう…せやな…としか言えない感じ。あんまりうまく言えないのですが、そんなわけで僕は「自明である」「当たり前」という言葉についてあんまり良い印象を持っておりません。

ここまではあくまでも僕個人の印象のはなし。気分の問題です。

というわけで、ここからは印象のはなし抜きで、自明だとして処理することの良し悪しについて書きます。もちろん自明として処理するのがダメなことかといえばそんなことはなくて、自明として処理していかなければ情報の量が多すぎて人間の頭なんぞ一瞬でパンクしてしまいます。自明であるとして処理する能力も学習能力の大切な一部です。ただしものごとには限度というものがあるって、僕があんまりよろしくないんじゃないかなあと思うのは、あらゆることを「そんな当たり前やん」で済ましてしまうこと。それをやっていると端的に言うとかアホになってしまうと思うのですよ。端

子犬の寝息は我々の微笑を誘った。

的に言わずにもうちょっと細かく言うと、ものごとを深く考察することがなくなり、固定観念に縛られがちになって、人間としての深みがなくなったり(こう書くとなんか薄っぺらい表現ですけど)。

しかし、自分が自明であるとしていることについていざ深く考えてみよう！としたところで、それって1人ではすごく難しいと思うのです。なぜなら自明として処理していることなんて無数にあるし、自明であるとして半ば無意識的に処理しているということは、そのことを自明として処理しているんだということ自体に、よっぽど気をつけていない限り気づきにくいから。なんかトートロジーみたいですけど。

じゃあどうしたらいいのかって考えた時に、自分があることを自明であると処理していると気づかされるのって、多くの場合は他人の存在だと思うんですよね。つまりたとえば、自分が当たり前と思ってることについて他の人から「なんで？」って聞かれたり。そういうのはある種チャンスで、そこで「え？当たり前やん」で済ますんじゃなくて、「ああ、他の人にとっては当たり前じゃないのか」って気づいて相手の話を聞きながら考え直してみることが大事なんじゃないかと思うのです。そうすることで、もしかしたら自分が考えもしなかった新しい考え方を得られるかもしれないし、そうじゃなかったとしても、今までただただ「自明」としてブラックボックスに放り込んできたものを言語化して体系だてて整理して説明できるようになればします。たぶん。

延々長々書いてきましたが、要するに何が言いたいかというと、他の人との話や、講義や本の内容でもレポートでも何でも、自分の中の当たり前とは違う何か引っかかることがあったら、なるだけスルーせずに掘ってみるのが大事なんじゃねってことです。

今回このお題を与えられて、「自明である」というわりと自明なことについていろいろぐるぐる考えて、部屋でお酒飲みながらまわらない頭でまとまらないなりに何とか文章をまとめていることも、上に書いたような「何かをきっかけに自明としていることについて再考してみる」ということになるんじゃないかなと思います。こんだけグダグダ書いて出した結論は、それこそおめーそんな当たり前じゃねえかって感じのもんですけど、そうだったとしてもこんな風にグダグダ考えること自体にも意義はあるんじゃないでしょうか。さっき言ったように考えを整理できるし、考える訓練にもなって思考力もアップするしね。たぶん。知らんけど。

明日は授業に…行くはず、

作文解題Ⅱ

▽ Ichishinnsei

ノックの音がした。

ここは八坂神社を臨むホテルの一室。京大の二次試験1日目を全く手ごたえのないまま終えたTは出口で待っていた父にも気付かず、先に部屋に帰ってしまっていた。Tが恐る恐るドアを開けると父は「お疲れ」とだけ言った。京大に落ちても私大に行くことも浪人することも経済的に困難であることを、そしてその事実が暗示することをTも父も痛いほどよく理解していた。

「ごめん、駄目だったみたい。」

気まずい沈黙の後、Tは声を絞り出した。父はそれには答えず、締め切ったカーテンを開けると振り返って微笑んだ。全てを包み込むような笑顔を直視することができずにTは咄嗟に話題をそらす。

「それは何？」

父の鞆から出ていた冊子を指さしてTは尋ねた。

「地塩寮のパンフだ。入り口で配っていただろう。」

「そういえばこの前母さんが言っていたね。作文と面接の試験があるんだっけ。ちょっと読ませて」

そう言ってTは冊子を受け取ると柔らかいベッドに体を投げ出した。

活字を追う気力をなくしていたTはとりあえずページ下のハミコラを読むことにした。

“逆境こそがチャンスだぜい”

気の抜けたような筆跡で書かれたその言葉はあたかも自分のために書かれたかのようでTは思わず笑みをこぼす。

「もう一度笑えるとは思わなかったな。」

いいから、コタツにささる。ほろほろはやく、

その眩きはかぼそく父の耳には届かなかった。しかし確かに T 自身の胸に響いた。その感覚を確かめようと T はパンフレットを最初から読み始めた。

「明日もあることだしもう寝るか」

父の問いかけに 2 日目の試験の日本史の最終確認をしていた T は頷く。明かりを消して暫く、暗闇を見つめて T は問う。

「他ならぬ『私』にとって自明なことってどんなことだと思う。」

「うーん、その人の経験に裏打ちされた、その人を基礎づけているもの、信念や信条よりも自身に密接で意識しないでも自然と行動、言動に表れてしまうもののことかな」

「あのさ、自明性を担保するのが明白さ、証明の不要さならさ・・・それが何であるか、そしてなぜそれが他ならぬ『私』にとって自明なのかについて語ることに意味なんてあるのかな、陳腐にしか思えないんだけど。」

「例えば、自分にとって自明なこととは〇〇でそれは・・・という経験に裏打ちされている、ということを知ることは自分自身を理解する上で大切なことなんじゃないかな」

「でもその正しさは担保されえないでしょ。人は事実よりも自分の信じたいことを信じる。自分に都合のいい過去を選択して物語を創り上げる。じゃあ切り捨てられた時間は、経験はどうなるんだろう。僕は僕自身に誠実でありたい。」

T は意気揚々と受験生時代の苦労を話す卒業生が嫌いだった。センター試験が終わった途端その結果如何で態度が変わる同級生が嫌いだった。そして何より自分が心の底では合格できればどうなってもいいと思っていることが、そしてそれを嫌悪する自分がいたことすらいつか忘れて意気揚々と受験生時代の苦労を話す卒業生になってしまうであろう自分が嫌いだった。

“ちしお”じゃなくて“ちえん”だよ。

翌朝、吐き気をこらえながらコーヒーだけなんとか喉に流し込むと T と父は出発した。

八坂神社を一顧だにせず T は前だけを見て歩いた。京大に近づくにつれて受験者だと明らかにわかる人の群れができる。T は目線を下げ、ポケットの中でカイロを握りしめた。風が身を切るように辛いのはどうやら寒さのせいだけではないようだった。京大に着くと父は冗談めかした口調で

「今日は一人で帰るなよ。」

とだけ言った。

「ああ、もうやれることをやるだけだからね。」

T は数学で大失敗したことで逆に開き直れた高校受験を思い出していた。

試験を終えた T は今度は父と再会できた。T は全てを出しきり、それでいてどこか澱のたまったような得も言われぬ気持ちになっていた。

「解答速報です。」

気の緩みにつけこむように抜かりなく手元に差し出された冊子を T は受け取り、開いてしまった。自分の記憶には全くない文字がそこには並んでいた。それが自分の勘違いでも印刷ミスでもない
と理解し始めたとき T は自分を支えていた何かが崩れ去る音を聞いた。

「最後に地塩寮を外からだけでも見ておくか。」

父の問いかけに従い T は人波を離れ、東一条通に入った。地塩寮にはすぐにたどり着いた。しかしもはやそれは T には関係のない建物でしかなく何の感慨も湧かなかった。ただあのハミコラを書いたのはどんな人であったのか、それだけが気になった。

法律なんぞもろい。

家までの道すがら T は一言も話さなかった。父も T のただならぬ雰囲気を感じたのか話しかけなかった。唯一、持ってきた本が全くつまらなくはないことだけが救いだっただ。本を読み終わると T は自分の今後について考えた。流れゆく景色に、落ちゆく夕日に自分の人生を重ねざるを得なかった。

T と父が故郷についたとき日はとうに落ちていた。月の光に照らされた父の横顔には疲労が色濃く映っていた。荷物を持って進むその歩みは頼りなさげで頬はこけ、背中は少し曲がっている。その時初めて T は大人として、保護者としての父の姿ではなく一人の人間としての父の姿をみた。思わず T は立ち止まる。怪訝な表情の父をよそに T は思い返していた。毎朝5時に起き、朝食と昼食の弁当を作ってくれた母を、学校まで送迎してくれた父を、つまらないことずっと話し合い、笑いあった級友を。

「なんでもない。」

そう言って T は歩き始めた。受験勉強が嫌になって「死にたい」と無意識のうちに呟いたときなぜ母が本気で怒ったのか今なら理解できる気がした。

「もう戻って来られないかと思った。」

無意識のうちに T は呟く。

「長かったな。」

父の言葉には実感がこもっていた。

「まだ本当に戻って来られたのかはわからないけどね。」

T の返事に再び父は怪訝そうな表情を見せる。

「やっぱり寒いね。まあ当然といえば当然だけど。」

抱え込んだ想いを吐き出すように T は言葉を放った。

桜咲く季節が訪れる気配はまだ全くなかった。

彼は夢の専門家なんですよ。

作文解題Ⅲ

▽ 20世紀梨

自明と懷疑

自明であることは意識することがなかなか難しいものです。自明であることは、それ自体がただあるというよりは、疑われることによって初めて自明であったことが明らかにされるようなものであると思います。そこで、その疑う作用を「懷疑」として、「自明であること」と「懷疑」との関係を考えてみたいと思います。

「懷疑」は自意識の成長とともに成長していきます。最初の内はちょっとした不満として表れるのみで特に困ったりはしないのですが、自意識がある段階まで成長すると、「懷疑」は独立して、目に見える様々なものにその刃を向けることになります。

「懷疑」それ自体に聖域はありません。それは目に入るものをことごとく分解し溶解させ、様々な要素に変化させていきます。それが生活に目を向ければ生活を分解するでしょう。スポーツに目を向ければスポーツを分解するでしょう。それらは上達に必要な事でもあります。「自明であること」は「懷疑」の目に入れば忽ちその自明性を失い、疑わしい残骸となって横たわるよりありません。

しかし、「懷疑」も抵抗なしにどこまでも行けるわけではありません。「懷疑」は疑わしいものとなった様々なものが、しかし疑わしいままで確かに存在している点で抵抗を受けます。「懷疑」は確かに様々なものの根拠を疑いのめすことで、存在していることを信じられないほど不安定なものに変えることは出来るでしょう。しかし、そこにあるものをないことにすることは出来ません。「懷疑」の力が強ければ強いほど、それが見出した不安定さと現実の存在との距離は大きくなり、存在はそれの前に巨大な謎として立ち現れるでしょう。また、「懷疑」はそれ自身の存在の根拠も問い始めます。どんなに疑うことが出来てもそこにゆるぎなく存在していることだけは間違いないいろいろな物事に対して、「懷疑」それ自体はなんと頼りない姿であるのでしょうか。自分に目をやった

悲しく泣いたわけじゃ … はいんてから ねっ。

「懷疑」は今度は自分の存在根拠を探し始めますが、それを発見するのは容易なことではありません。なぜなら、物事の存在根拠を疑わしいものに変えることをこそ、今まで「懷疑」がやってきたことなのですから！その見つけ出した存在根拠はたちまち疑わしいものと変じ、「懷疑」は深く苦しい彷徨を続けねばなりません。「懷疑」はこの二つの方向からの抵抗に、どうにかして対処しなくてはなりません。

疑わしいものとして打ち捨てられていた、「自明であること」が、息を吹き返すのはこの時です。「懷疑」は人の行うことであり、人は生きて存在しているという事情から、それはどこかで存在を認めなくてはなりません。「自明であること」は、ここにおいて一度は失ったその存在の根拠を再び手に入れるのです。ここから「自明であること」はその芽を再び成長させていくことになりますが、それは当初とは違い、様々な「懷疑」に耐える鍛えられた物になっています。いわば、それは懷疑の炎を潜り抜けることで、初めてその根拠を得ることが出来るのです。

「自明であること」は、我々が最初に手に入れた時には確たる根拠がありません。それに根拠づけするためには、「懷疑」という正反対の作用によって鍛え上げられねばならないのです。しかし、「懷疑」の用法には特に注意しなくてはなりません。ついうっかり分量を使い過ぎると、哲学者になってしまいますからね！



京まで徒歩3分、心の距離は1.5時間



介護のページ

▽ 地塩寮生有志

みなさんは「自立障害者」と呼ばれる方々の存在を知っていますか？

自立障害者の人々は、障害者には一般的には難しいとされる一人暮らしを選択し、あらゆることを自分の責任で選ぶ生活を送っています。しかし、その生活を維持するためには、洗濯・炊事・入浴といった家事労働を手助けする人間が必要です。地塩寮では、二人の自立障害者、湯口真さんと李清美さんの生活介護を有志で行っています。今回は、そのお二人のメッセージと、寮生有志の声、また、李清美さんからお知らせ頂いた新しい取り組みについてご紹介します。興味のある人はぜひ参加してみてください。あなたも障害者の“自立生活”に関わってみませんか？

私は京都市のある地域で一人暮らしをしている、ほぼ寝たきりに近い“重度の身体障害者”です。身体がとても不自由で、日常生活のあらゆる動作に介護が必要です。私たちは介護が無ければ、食事も排泄もままならず、人間としての日常生活を送ることができません。“介護”と言えば、体が不自由な人の着替えを手伝う・外出の際の車椅子押し...などを障害者の家族が、いわば抱えこんでしまう形でやらねばならないもの...と認識されてしまいがちです。

私たち“自立障害者”は、その考え方とは一線を画す形で、家族以外の社会人・学生・その他様々な立場の人たちと人間関係を作りつつ、介護に入ってもらいながら日常生活を送っています。とくに歴代の地塩寮生との関わりは長く、介護を通じて障害者と介護者の間でしか生まれ得ない、一風変わった人間関係を作ってきました。

新入寮生の皆さん、既に介護に入ってくれている先輩寮生たちとともに、私たちに力を貸してもらえないでしょうか？

湯口 真(ゆぐち まこと)

連絡先:090-5362-4045

2次元ポケットに入るもの募集中

私は難病をもつ在日韓国人 2 世です。1985 年から親と世帯分離し。地域で生きてきました。当時は公的な介護保障制度が皆無で、自力で色々な大学や寮でビラまきをしたり、話をしに行ったりして、学生さんに関わって今の生活を維持させてきました。

地域で皆さんのように当たり前に生きたい。けれども「介護」に関心を持ってくれる人がいなくなってしまうと、今の生活を維持させていくことができず、施設に入ることを余儀なくされてしまいます。多くの障害者は好きで施設に入っているわけではありません。どうして社会的弱者という立場に置かれている者は、自由を選択することすら許されないのでしょうか。施設ではなく地域で自分らしく生活することを望んでいるだけなのに。

今私ができることは自分のすべてをさらし、「私のことを見て!」、「私の話をちゃんと聞いて!」と、皆さんにアピールし、理解してもらえるように話をしていくことしかありません。どうか他者のために自分の能力を使うということを考え、そして選んでみてほしいのです。私も一人の人間として、悔いのない生き方をしたいと思っています。立ち止まることはあっても毎日を精一杯生き抜いて、こんな私でも関わってくれている人たちから必要とされたい、互いに支え合える関係を目指しています。「健常」者と「障害」者の間にある溝(差別構造)を取り除いていくには、互いに置かれている環境、立場があまりに違うということを認識し、その上に寄り添い合う意志(気持ち)を持ち続けていくしかないと考えます。

この世の中から「障害」者差別をなくしたい!

体が許す限り、考え行動していこうと思っています。地塩寮生の皆さんには 20 年の間私の生活を支え、関わることを選んでもらえたことに心から感謝しています。これからも「障害」者の介護に関心を持ち続けてください。よろしくお願いします。

連絡先:075-621-6899

李清美

著書:「私はマイノリティ!あなたは?」現代書館

(文学部三回生)

一回生の時に寮の先輩に紹介してもらったのがきっかけで介護に関わることになりました。作業の内容は、掃除、洗濯物の取り込み、買い物、食事作りなど一般的な家事と同じです。介護に入った最初の頃は作業に必死でしたが、三年もたつと色々なものが見えてきます。例えば、いかに障害をもった人々が「普通の生活」を送りたくても送れていないかなど…。障害者を取り巻く環

北部メンツが多いね。

境を理解するには、その生活に関わることが手っ取り早いと思います。もし興味がある方がいれば、私に色々と聞いてみてくださいね。

地塩寮生の皆さんへ

NPO 法人ハーモニーきょうとの吉田と申します。介護保険制度と障害者福祉制度にのっかってホームヘルパー派遣の仕事をしています。その仕事を通じて助け合いの社会づくりをめざす、ことをミッションとする NPO だと思ってください。

30 年位前に京都の某大学にいた頃、地塩寮にはちょこちょこ顔を出していましたが、最近はずっかりご無沙汰です。ちなみに吉田寮、熊野寮にも顔を出していましたから、わかる人には素性がわかると思います(笑)基本的におしゃべりなオジサンなのでのせてくれればなんぼでもしゃべります。いろんなことをやってきましたが、基本的には「反差別」ということを基調に生きてきたと思っています。

障害当事者の家を訪問して支援をするということを仕事(「ホームヘルパー」というやつです)としてきましたが、一昨年障害児童の通所施設(「放課後等デイサービス」といいます)事業をはじめました。児童の生活支援をするのはもちろんのことですが、様々な人と出会い社会経験をすることで「自立」する力を育むことを目的とします。で、ボランティアというか、子どもたちと遊んでくれる方を募集しています。

「重症心身障害児」と言われる子どもが中心に来てくれています。小難しいことはどうでもよいのですが(「小難しい」ことも話をききたい方は歓迎しますが)、色々と一緒に試行錯誤してくれる方は嬉しいです。少しでも興味のある方は、気楽に声をかけてみて下さい。お待ちしております。

【住所】京都市伏見区深草瓦町 47 フェリーチェ 47 1 階 NPO 法人ハーモニーきょうと

【E-mail】harmony.kyoto@gmail.com 【ブログ】<http://harmonykyoto.seesaa.net>

博士に愛されたい

地塩寮 de クッキング

▽ にしがきけいた

今日は地塩寮でハンバーグを作りましょう。

主な材料と道具はこちら。



(道具はすべて寮のもの！)

1. 混ぜます。
2. ナツメグいれます。寮の厨房には様々なスパイス・ハーブがありますが、賞味期限はチェックしましょう。



3. 焼きます。



ガスオーブン、オームベーカー、中華鍋 ecc いろんな用品を定♪

4. このままだと火が強すぎて中まで火が通らないなあ… どうしよう…

5. どうしよう……

6. そうだ！

7. オープンだ！！



～中略～

8. おいしい(完成写真を撮り忘れた)

9. 洗い物もしましょう！（洗わないとほかの寮生の迷惑になります）

10. 地塩寮にはあらゆる器具がそろっています。レッツ自炊ライフ！！

料理が得意な寮生が多いですよ。

迫真サークル・部活に入らない部

▽コミュ障キモブサハゲステロイダー

あなたはおそらく大学生になるだろう。大学生になったらやりたいことがたくさんあるだろう。大学には、テニスをして顔重視テニスサークルや、ギスギスした男女関係はびこるまったり文化部、みんな楽しく練習していますと謳いながら週8練習・無限に金の飛んでいく体育会、深夜まで練習しチケットを自分で売らないと自分の収入はマイナス10万円になるという音楽系サークルなど、楽しいところがいっぱいである。こんなモノは中学・高校のクラブ活動の劣化版でしかないと感じるのは私だけだろうか。これは一部に過ぎないので、他にもっと箸にも棒にもかからないところもあれば、あまりにも崇高な理念を持った人格者しか集わないところもあるかもしれないが、筆者は“どの部活・サークルにも属さない”ファインプレーをやったのけ、無事“OFF会0人”ならぬ“大学生活友人0人”を達成した業績を持っているため、私の意見は個人の感想の域を出ないのかもしれない。

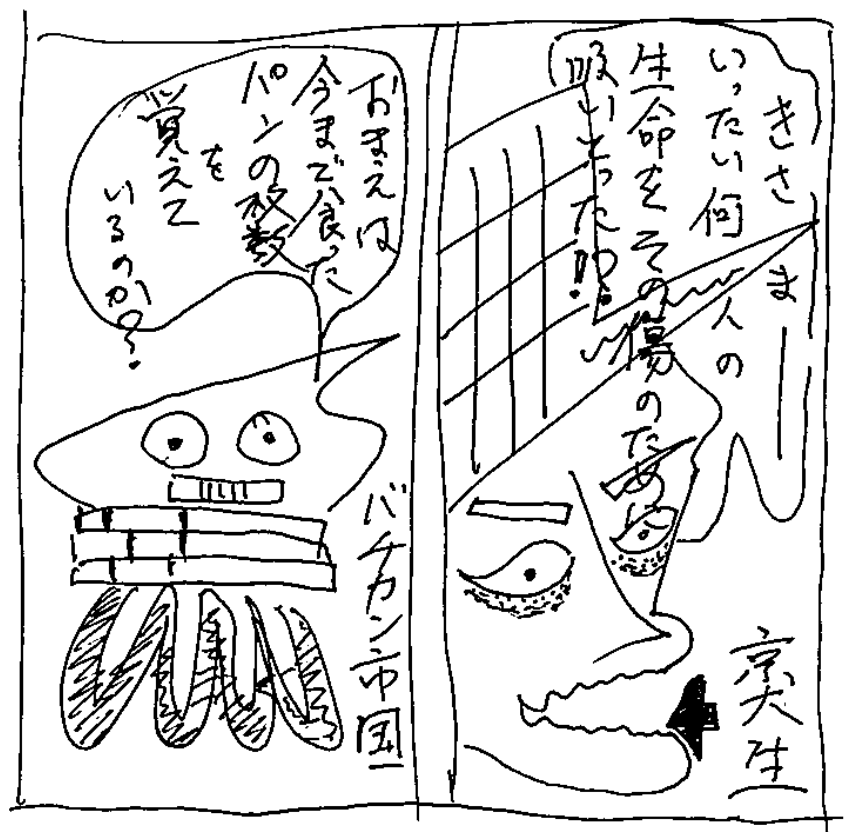
では、大学に入って何をするのか。部活・サークルをしないと時間は結構余ることが多い。時間があるから勉強をしようという気が起こる人は、統計上京大生では3.775%にとどまることが知られている。バイトという手が最も一般的かもしれないが、これもまた時間の無駄である。大学を出たらいやでも働かないといけない将来は見え透いているのに、なぜ時給834円で皿を洗う必要があるのか。どうしてもバイトをするのであれば、大卒初任給を時給換算した以上の時給のところを選ぶべきである。また、心身ともに健全に過ごせる、仕事内容の薄いバイトをするべきである。

そういった美味しいバイトが見つからない、見つける気がない場合はどうすれば良いか。借金である。親兄弟と仲の良い者はそういう親類から借りると良い。踏み倒しやすいからだ。そうでない場合、奨学金という手がある。奨学金は調べてみるとわかるが、サラ金に比べ圧倒的に金利が安い。返済の恐怖だけが世間では語られているが、Sラン大学生にとっては無縁の話だと思ってもらって良いだろう。もし借りる必要がない人でも、社会人になって車のローンやマイホームを買

深夜夜生になろう。うっきーのキー

う際に借金をするぐらいなら、奨学金を借りておいて頭金にするのが賢い選択である。さて、部活・サークルもせず、バイトもせずに奨学金を借りるとなるといよいよ時間が余っていく。おそらくこれほど時間が余ると、普通の人間は発狂するだろう。私はゲームをすることで精神の安定を図っている。とくにインターネット回線を用いた対戦型ゲームは精神安定剤の役目を果たすことが医学的に証明されている。

大学生の醍醐味は暇の鍛錬だと私は思っている。これが、大学生＝猶予期間“モラトリウム”と呼ばれる所以である。ゲームに飽きた人、ゲームが嫌いな人は、このパンフに載っている“介護のページ”を読んでみなさい。あなたにぴったりだと思うから。この私が6年ほどやっているのだからまちがいない。折角あなたは大学生になったのだ。2017年度大学進学率は52.4%である。2人に1人という結構少ないと思うだろう。しかも名の知れた大学に入るべくして入ったあなたは、いまの境遇で最大限“大学生”する必要があると私は思わずにはいられない。



夜は悲しい。風も悲しい。

寮

▽ 蛙のしっぽ

その日は木曜日だった。3限にしか授業のない僕は午前中を純粋な睡眠に捧げることにしていた。麻のシーツに素足を滑らせては一人でくつつと笑いながら、窓から差し込む日差しの中で大きくあくびをした。鼻まで布団に潜り込んで、裸の膝を抱えて目を閉じた。布団の中は洗剤の甘い香りと太陽、石鹸と体の匂いがした。同階の住人は皆、1限に出たか僕と同じように部屋に籠っているかしていて、廊下も階段も非常に静まりかえっていた。

「お休みのところ失礼しますよ、お話よろしいですか」

突如、部屋の扉の向こうから厚みを欠いた声が無遠慮に飛んできた。僕は急いで寝間着のズボンを布団の中から引っぱり出してはかなければならなかった。扉を開けようと立ち上がって初めて、喉が渴いていることに気づいた。

「何の用ですか。僕は部屋にテレビなんて置いていないし、光熱費は寮で払っているんです」

扉の向こうには、紺色のぼりとした制服を着た女が立っていた。胸元に黄色いバナナのピンバッジが光っていた。

「NHK でも大阪ガスでも水道局でもありません。私は京都バナナ局の者です。あなたは先月分を含めて5ヶ月分の料金を滞納していらっしゃいます。本日はその集金に参りました。」

「バナナの集金人？」

「ええ、その通りです。6月から先月までの5ヶ月分の料金をお支払いください」

バナナの集金？6月から滞納している？僕の頭は混乱していた。もし今、寝間着を着なければならなくなったら、きっとズボンの上からパンツをはいてしまうだろう。あるいは、ズボンをはいたままパンツを脱いでしまうかもしれない。僕は心当たりのないことを伝えた。

「扉にこのステッカーが貼られている以上、大塚さまには支払いの義務があります」

彼女の言う通り僕の部屋の扉にだけ青色のステッカーが貼ってあった。白字で"Chiquita"と書いてあった。文字の上には果物籠を頭に載せてポーズをキメる女が微笑を浮かべていた。一番下にはシリアルナンバーと京都バナナ局のマークが入っていた。

「でも妙だな。僕はバナナ局の契約なんて本当に今の今まで何も知らなかったんだ。それなのに入寮した3月から5月までは支払いが済んでいる、支払った覚えは無いのに」

「5月までの料金は、大塚さまの前にこの部屋にいらした渡辺さまが支払われました」

早くこの集金人には帰ってもらわないと、僕は喉が渴いて死にそうだった。いっそ支払ってしまった方が得策なのかもしれない、あるいは。そこで僕は滞納額を尋ねた。

「基本料金が一月1,296円で、3ヶ月分ですので3,888円になります」

僕はズボンの尻ポケットに入れた財布を探す。しかしそれは無意味だった。寝間着のポケットに財布を忍ばせておくほど、僕には幸か不幸か警戒心なんてものが存在しない。でも世界にはきっと寝ている間にも財布やら健康保険証

毎日がエブリデイ!!

やおからドーナツやらを肌身離さず身につけていなければならないほどの状況の人々がいる。夜に安心して寝付ける人間がこの世界に一体どれだけいるだろう。朝日新聞社に電話をかけて尋ねてみるのも悪くない。

「悪いけど、今手持ちの金が無いんだ。そもそも財布が何処にあるのかも分からない」

彼女はやれやれ、と言って首のあたりに垂れた髪を撫でつけ、僕の両目をきっと見据えた。

「ではまた今度。必ず来ます」

急に喉の渇きと睡魔が僕を襲い、立ち去る彼女の後ろ姿を視界にとらえつつ崩れ落ちた。僕が扉の前に倒れても、世界は変わらずにうまく動いているようだった。廊下から、誰かの冷蔵庫で氷がガタガタとトレーに落ちる音がした。蛍光灯が点滅する、ツー・ツトン、ツー・ツトンという音が廊下に響く。まるで世界は規則正しく歯車を回す一方で、僕だけが取り残されたみたいだ。

頭の中はバナナとおからドーナツ、蛍光灯の点滅、歯車で脈絡を欠いた劇場と化していた。混沌が次の混沌を吐き出す。僕は目を閉じて息を止め、全てが止まることを思った。閉ざされた瞼の裏に、光の跡や活字の列が現れては去り白んでいく。随分と遠くまで来てしまった気がする。

「大塚くん、大丈夫ですか。目を開いて。私が見えますか」

その声の主は紛れもない、かえるくんだった。彼は湿って冷たい水掻きのついた手でぺしぺしと僕の頬を叩いた。そして僕を抱き起こし、マグカップに入った水を飲ませた。

「食器棚にあったカップを勝手に取り出してしまいました。大塚さんが気を悪くされたら申し訳ないと思います」

気を悪くしてなんかいない、と僕は答えた。かえるくんは本当に優しく善い人間だ。大学入学を機に上洛した僕にとってかえるくんは善き友人であり、保護者だった。

「ねえかえるくん、バナナの定額パックは一月 1,296 円なんだ、どうやら」

「1,296 は 36 の二乗。もっと言えば 6 の四乗。昼間ぐらいいは世の中の明るい面を見た方がいい」

それから彼は目覚まし時計をセットして、僕をベッドまで連れて行き、布団を鼻の下までかけた。どんな彼の動きも、きっと絵本の挿絵に相応しいものになるだろう。世の中には、そういう人間も存在する。そしてかえるくんは間違いなくその中の一人だった。

「私はこれから東京に行って、片付けなければならないことがあるのです。非常に残念なことです、好むと好まざるとに関わらず、やらねばならない類いのものごとがこの世にはあります」

かえるくんは僕の頭をそっと撫でた。僕は布団から手を出してかえるくんの目の近くに触れた。少し湿っている気がしたが、それがいつものことなのか、涙のせいなのか判別できなかった。

「行ってしまうんだね。東京の片桐さんによろしく」

かえるくんは黙って頷くと立ち上がった。彼は本当に行ってしまう、僕も眠ってしまった。

アラームの音で目を覚まし、天気誘われて外へ出た。荒神橋の真ん中で周りをぐるりと見回すと、京都を囲む山々が見えた。僕がこの窪みから出られることなど、もう無いのかもしれない。

明日はきょう tomorrow
?

全て遠き■ ■ ■

▽ ■ 司

特に主張したいことがあるわけでもないし、おっさんの思い出話に付き合ってもらいたい。今まで何度も言われていると思うが、寮というものは生き物みたいなもので、構成するメンバーによって色々姿を変える。

■■■■■■■■■■していた時代、■■■■■■■■■■な感じの時代、■■■至上主義のような時代、他にも色々な時代があったのだろう（言い過ぎかもしれないが現在は最後が一番近いように感じる）。僕が過ごした時代で最も■■■■■■■■■■たのは、やはり■■■■■■■■■■な感じの時代だ。まさしく僕が■■■■■■■■■■た感じがこの時代だった。

毎日のように■■■をし、くだらない話に花を咲かせ、
 時には外に繰り出して、■■■や■■■、■■■を■■■し、最後に鴨川を眺め■■■■■■■、
 東にいい銭湯があると聞けば、ママチャリ走らせ入りに行き、
 西にうまい焼肉屋があると聞けば、何時間もかけママチャリで焼肉を食いに行った。
 ■■■に■■■の動きがあれば、■■■■■と言って■■■■■■■、
 ■■■から■■■■■■■-■■■■■が聞こえてきたら■■■■■な■になって■■■■■■■■■■■■■■■。
 遠方より来客あらば、■■■■■■■■■■■、■■■■■■■■■■■に■■■■■、もてなし、
 夜に■■■たくなれば、■■■■■を■■■構内■■■■■に■■■■■、
 夜に散歩がしたくなれば、■■■構内の■■■に■■■、■■■■■との■■■■■■■■■■■■■に励んだ。
 長期休暇には旅行へ行った。夏には香川へうどん屋巡りに、冬は台湾へ■■■■■■■■■■■■■■■に。

どれもこれも■■■■■ことばかりだが、個人的には■■しい思い出だ。今の寮にもあるのかもしれないが、その場で■■ ■■■■ことを■■■■■■■■■■なんてものは減ってしまったように思う。■■■■■でないことはいいことに思う。が少し■■ ■も思う。来年入ってくる寮生には是非とも■■■■■■■■■■というものにとって欲しいものである。

[地塩寮により検閲済み]

恋をしよう。あとは食生のおもちゃだぜい。

ある日の大学

▽ のんぼり！

昨日、近所の京都大学行ったんです。京都大学。

そしたらなんか人がめちゃくちゃいっぱいに入れないんです。

で、よく見たらなんか垂れ幕下がって、「ザッツ・京大」、とか書いてあるんです。

もうね、アホかと。馬鹿かと。

お前らな、「ザッツ・京大」如きで普段来てない京都大学に来てんじゃねーよ、ボケが。

「ザッツ・京大」だよ、「ザッツ・京大」。

なんか観光客とかもいるし。一家4人で京都大学か。おめでで一な。

よーし父さん総長カレー頼んじやうぞー、とか言ってるの。もう見てらんない。

お前らな、素数定規やるからその場所空けろと。

京都大学ってのはな、もっと殺伐としてるべきなんだよ。

くすのきの向かいに座った奴といつ喧嘩が始まってもおかしくない、

キヨドルかキヨドられるか、そんな雰囲気がいいんじゃないか。ファッションイカ京は、すっこんでろ。

で、やっと入れたかと思ったら、隣の奴が、「自由の学風」で、とか言ってるんです。

そこでまたぶち切れですよ。

あのな、「自由の学風」なんてきょうび流行んねーんだよ。ボケが。

得意げな顔して何が、「自由の学風」で、だ。

お前は本当に「自由の学風」を堪能したいのかと問いたい。問い詰めたい。小1時間問い詰めたい。

お前、「自由の学風」って言いたいだけちゃうんかと。

京大通の俺から言わせてもらえば今、京大通の間での最新流行はやっぱり、

「ゴリラ討伐」、これだね。

タテ看規制反対「ゴリラ討伐」TOEFL 反対。これが通の頼み方。

「ゴリラ」ってのは当局側の管理が多めに入ってる。そん代わり学生の主体性が少なめ。これ。

で、それにタテ看規制反対・TOEFL 反対(強制受験だゾ)。これ最強。

しかしこれを頼むと次から当局にマークされるという危険も伴う、諸刃の剣。

素人にはお薦め出来ない。

まあお前らド素人は、東の最高学府にでも通ってなさいってこった。

宛のお金でお出掛けできる…かも。

入寮選考委員長たるもの？

▽ ちえぶ

かの有名な『ティファニーで朝食を』のホリーの肩書きが''^{旅行中}traveling''であるならば、私のそれは''preparing''または''coming soon''。いずれも、意味は「準備中」。「これができるほどの準備ができてないから」…この言い訳を繰り返して、一体どれだけのチャンスを捨ててきたのだろうか？今にしては自意識過剰としか思えないほどに、高校生の時は小さなことばかり気にしていた。人に対しても出来事に対しても、壇上には上がらずに観客席から仲間同士かたまってプレイヤーの論評ばかり。自分が壇上にあがるつもりはない癖に、あがれる努力もしていない癖に、「自分も当然なるであろう姿」に上から目線で言いたい三昧。そういう態度は自分の中の大切なものを無意識に蔑ろにしていくとともに、それを大切に続けようとしている人たちを遠ざけていったのだ。

アメリカのあるプラスサイズモデル(日本でいうぽっちゃりモデル)が、「完璧を追い続けるのをやめた時に人は成長するものよ」と言っていた。これを「言い訳」と感じる人もいるだろうし、私も最初そう思った。しかし今は違う。人は誰も自分が''^{準備中}preparing''だと考えていて、そうじゃなくなる日なんてきつと来なくて、そんな今の自分でやれるだけのことをやっているのだと、彼女はそんなことを言おうとしているのかもしれないと、そう解釈している。チャンスがあるなら、飛びこめる私でいたい。実際やってみてやっぱり全然至らなくても、そこからでも生まれるものはあるはずだ。地元から飛び出してちょっとだけ広い世界に飛び出してくるあなたにも、そう思って欲しい。そしてそう思えるためには、反省しながら帰ってきてホッと落ち着ける場所があるといいと思う。この寮は、私にとってはそういう場所です。もしあなたが地塩寮に見学なり面接なりで来て、「こんな素晴らしい人達とやっていける自信がない」と思って(絶対ないと思うよ)も、きっと大丈夫。待っています。

「入選委員長たるもの、期待と不安に胸を膨らませる受験生の心に響く文章を書けないといかん」なんて憂鬱になってなかなか書く気になれなかったけど、みんなそんな資質はないと思いながらも書いてきたんだろうし、私が100回生まれ変わってもやっぱりそんな人にはならないと思うから、覚悟を決めて(諦めて?)パソコンを開いたのだ。

官日誌という落書き帳がある。

編集後記

▽ 師走

どうも、隙あらば自分語り、編集の師走です。いつものことなので自分の話します。

突然ですが僕はファンタジーとか SF とか現実じゃない物語が好きです。これ何故かという多分自分が今生きている世界に完全に納得がいていなかったからなんですよ。だからここじゃない魅力的な世界について書かれたものが好きなんだと思います。そういう気質もあって子供の頃から「将来違う環境になったら面白いことが起こるんじゃないか」と色々なものに期待してきたわけですが、まあそんなこともないですよ。中学生になったら、高校生になったら…その延長線上に京都大学もあったわけですよ。

ここで話は変わりますが僕は浪人中にある漫画に出会いました。その漫画は端的に言うと主人公が日常の出来事の中に素晴らしいもの、面白いもの、心を動かすものを発見していく基本的に一話完結型の漫画です。ではその何に感動したのかというと、その主人公の見る世界の素晴らしさです。これを見ていると素敵な人間は既に素敵な世界を見ていて、結局のところ僕の考えていたファンタジーは現実には存在していたのではないかなと思わされます。おそらくこれは本当なのでしょう。そう思った私は一歩踏み出すことにしました。受け身ではいけないと思ったからです。やりたいと思ったことはすぐ実行し、迷った時は全て変化が大きい方に動くようにしました。その結果どうか、なんてことはあまり信用できる情報ではないですが、少なくとも退屈はしなくなりました(二浪までして入った大学は退屈でしたが)。

そして積極的に動くようにした決断のうち一つが地塩寮の入寮です。一般的な感性であれば一瞬は入寮をためらうような外見、集団生活への不安などやはり迷いはあったわけですよ。ですが前述の通り変化が大きそうなので飛び込んでみることにしました。もちろん良いことばかりではないけれど、疲れて帰ってきたら話を聞いてくれる人がいるし、みんなで馬鹿騒ぎしながらクソアニメを見たり、飲みましょーと言ったら酒を飲んでくれる人がいる。何より安い。この寮に入ってよかったなと本当に思っています。

おそらくこのパンフを通じて地塩寮の魅力は伝わる人には伝わったと思います。残念ながらこういう寮です。その上で、もし今これを読んでいるあなたが迷っているのならとりあえず見に来てください。踏み出した先には何か面白いものがあるかもしれません。寮生一同歓迎します。ちなみに僕は深夜寮生なので夜遅い君の来訪を特に心待ちにしている。

パンフ製作にあたって関わって頂いた皆さん、読んでいただいた皆さんに多大な感謝を申し上げます。ありがとうございました。そして、しばしばバグを起こし私を困らせた word と、画像の加工で手伝ってもらった有能 Photoshop 君にも感謝をして筆を置きたいと思います。

冷暖房完備(?)の食堂

入寮選考について

○募集対象

大学に籍を置く者（在籍大学・回生・性別・国籍・宗教は問いません。）

○選考方法

作文・整理表・面接

作文テーマ「あなたにとって自明なこと」

※応募人数多数の場合は、作文・整理表の内容をもとに一次選考を行います。

○日程

3/12（月）12時：作文・整理表提出締切

3/12（月）11時-12時半：茶話会

3/12（月）16時：第一次選考結果発表

3/13（火）：面接

3/14（水）14時：入寮許可者発表

Chienryo

'18

Kyoto daigaku YMCA Chienryo . Tanoshikute yukaina nakamatachi ga nakayoku genki ni kurashte imasu.
Anata to issyo ni sumerukoto wo naniyorimo tanosimi ni shiteimasu. Zehi ichido asobi ni kite !

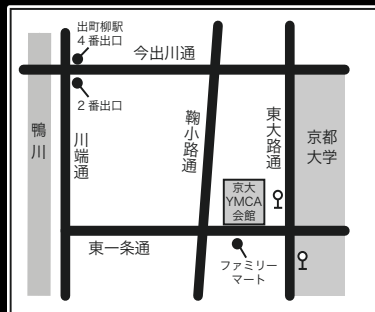
京都大学YMCA 地塩寮

〒606-8302

京都市左京区吉田牛ノ宮町21

TEL : 075-751-9744

MAIL : chien_de_yukkuri@yahoo.co.jp



右のバーコードは何の意味も持ちません。
何となくの雰囲気に合わせて挿入しただけのものです。ご注意ください。



表紙のQRコードは
HPに飛べるようになっています。